

アンケート調査のとりまとめ

1 市民等向け

1) 実施内容

市民等を対象に実施したところ、次のとおり回答が得られた

選択肢	回収数（枚）
中央区	91
花見川区	82
稲毛区	72
若葉区	59
緑区	46
美浜区	68
市外在住（市内に在勤、在学している）	8
市外在住（市内に在勤、在学していない）	0
合計	426

市民等向けに実施したアンケート調査の内容を下記に示します。

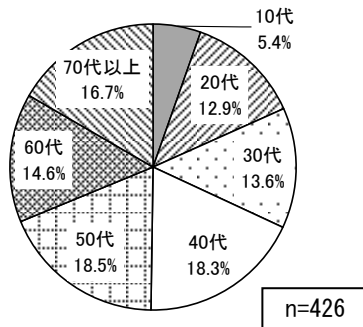
問	設問
1	あなたの年代をお答えください。
2	あなたの住んでいる所について教えてください。1つだけ選んでください。
3	あなたの職業を教えてください。1つだけ選んでください。
4	あなたのまわりの市内の水環境や水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。
5	市内の水環境や水循環に関係している場所でああなたが大切にしたい場所はありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、場所の名前などを教えてください。
6	水環境や水循環をよくするために、あなたが気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。
7	あなたは「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。1つだけ選んでください。
8	千葉市の生物多様性について、あなたが問題だと考えていること、または身の周りで気になっていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。【参考（資料）】
9	あなたにとって最もかかわりのある「生物多様性」を教えてください。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。
10	生物多様性について、あなたが想い描く未来への夢を教えてください。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。
11	生物多様性が豊かな未来にするために、あなたはどのような取り組みが必要だと思いますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。
12	みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。1つだけ選んでください。
13	千葉市の水環境・水循環と生物多様性の保全・再生への取り組みや計画づくりについて、ご意見があれば教えてください。

2) アンケートの分析結果

収集したアンケートの分析結果を下記に示します。

Q1 あなたの年代をお答えください。

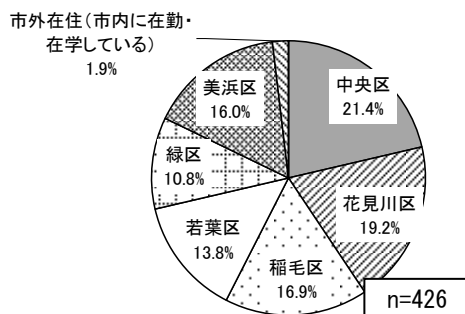
- ・年代は、「50代」が79人(18.5%)と最も多く、次いで「40代」が78人(18.3%)、「70代以上」が71人(16.7%)でした。



選択肢	回答数
10代	23
20代	55
30代	58
40代	78
50代	79
60代	62
70代以上	71
全体	426

Q2 あなたの住んでいる所について教えてください。1つだけ選んでください。

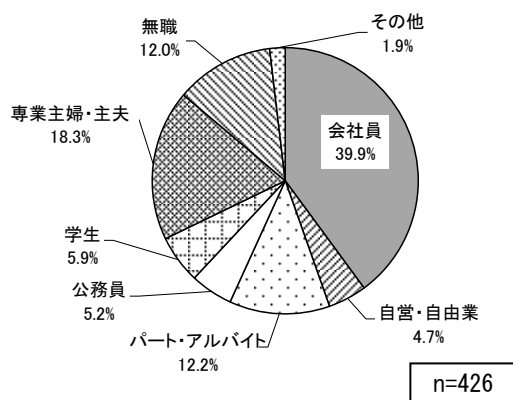
- ・居住地は、「中央区」が91人(21.4%)と最も多く、次いで「花見川区」が82人(19.2%)、「稲毛区」が72人(16.9%)でした。



選択肢	回答数
中央区	91
花見川区	82
稲毛区	72
若葉区	59
緑区	46
美浜区	68
市外在住(市内に在勤・在学している)	8
市外在住(市内に在勤・在学していない)	0
全体	426

Q3 あなたの職業を教えてください。1つだけ選んでください。

・職業は、「会社員」が170人(39.9%)と最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が78人(18.3%)、「パート・アルバイト」が52人(12.2%)でした。

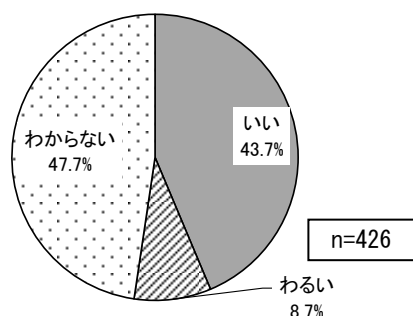


選択肢	回答数
会社員	170
自営・自由業	20
パート・アルバイト	52
公務員	22
学生	25
専業主婦・主夫	78
無職	51
その他	8
全体	426

Q4 あなたのまわりの市内の水環境や水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。

《水環境》

・水環境については、「わからない」が203人(47.7%)と最も多く、次いで「いい」が186人(43.7%)、「わるい」が37人(8.7%)でした。



選択肢	回答数
いい	186
わるい	37
わからない	203
全体	426

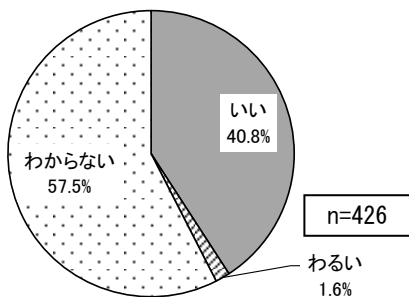
・「わるい」の回答としては下表のとおりでした。

水質が綺麗ではない
きれいとは思えない
湧き水が少なくなってきた
川が汚い
近くの川が汚いと感じる
近くの川の水が汚いから
モノレール周りの水場が汚いと思う
水が濁っている
川が濁っている、臭う
臭いが気になる
時期により匂いが気になることがある
下水道の臭いが強い
上下水道が完備していない
生活排水が河川に排水されている
水道水が不味い
飲み水、川の水質
浜田川は悪臭がひどい

花見川に特定外来生物がたくさんいる
海の水が汚い
冠水する地域が多い
水辺にゴミが多い
ポートタワーや稲毛海岸の海が汚い
赤潮の発生が年々大規模になっている。又、里山や谷津田の荒廃が著しく、植生や在来の動物の多様性は下がっていると感じる。
みなと公園の池に鯉が1匹もいなくなった
生物が減りつつある
水源でした河川上流部の谷津田が放棄されて、生物多様性が失われている。
自分たちの観察範囲では、池や水路は土砂やヘドロの堆積が進んでいることや外来種の増加により生物相が貧弱になっている。
いつと比べてなのかわからない。下水道整備で水質は向上したが、都川本流では魚類の個体数は減少している。また開発による緑地の消失は減少したが、耕作放棄地の増加で生物の生息環境は悪化している
江戸時代のように人間の排泄物を自然に還元していない。
搬入された汚染土壌から有害物質が地下水拡散している事例があります。
森は伐られゴミや産業廃棄物の捨て場は未整理のまま増えている
川の始まりが市街地にある千葉市のような地形では、宅地化による林地の伐採で地下浸透する雨水が少なくなり、河川流域の植物の生育やそこに棲む生物に悪影響を与えている。

《水循環》

- 水循環については、「わからない」が245人(57.5%)と最も多く、次いで「いい」が174人(40.8%)、「わるい」が7人(1.6%)でした。



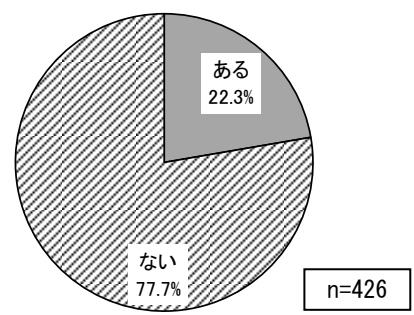
選択肢	回答数
いい	174
わるい	7
わからない	245
全体	426

- 「わるい」の回答としては下表のとおりでした。

臭い
下水の流れが悪い
コンクリートやアスファルトが多い
湧き水が少なくなってきた
川の始まりが市街地にある千葉市のような地形では、宅地化による林地の伐採で地下浸透する雨水が少なくなり、河川流域の植物の生育やそこに棲む生物に悪影響を与えている
涵養林の保全が出来ていないように感じる。古木、枯木が増え、樹木の更新ができていないように思います

Q5 市内の水環境や水循環に関係している場所であなたが大切にしたい場所はありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、場所の名前などを教えてください。

・大切にしたい場所は、「ない」が331人(77.7%)と最も多く、次いで「ある」が95人(22.3%)でした。



選択肢	回答数
ある	95
ない	331
全体	426

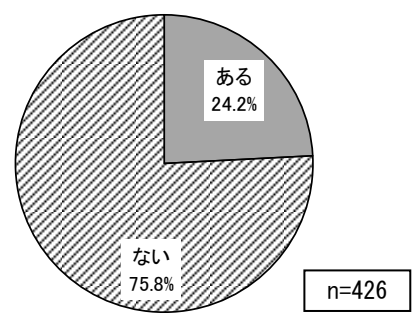
・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

川
坂月川一帯の自然環境
坂月川ビオトープ
坂月川ビオトープ及び坂月川流域
現在若葉区に住んでいるので、加曾利貝塚を含めた坂月川流域の環境を大切にしたいと思っています
花見川
花見川付近サイクリングできる
花見川流域 谷津地に偏ることなく、日常生活に直結する、都市生活環境としての河川を中心とした水環境・水循環の再生・保全
都川
都川支流の流域保全
都川、坂月川流域
村田川と流域の谷津田
印旛沼
上水道
ろっぽう水の道
大百池
千葉公園の蓮のある池
大藪池
川 浄水池
浄化施設
浄水場
花見川浄水場
支川都川の湧水群、都川上流域、鹿島川上流域（下大和田・金光院周辺）、生実池周辺、金剛地、奈良
水道局
一本松公園
泉自然公園
泉谷公園
稲毛海浜公園
大百池公園

県立青葉の森公園
昭和記念公園
昭和の森公園
花島公園
みなと公園
千葉みなと
千葉市内各所の里山地区
海
稲毛海岸沿い
稲毛の浜
検見川浜
幕張の浜
海浜幕張海岸
マンションの井戸
ポートタワー
海からの水路
草野水路
園生用水路
川、海、谷津田、湧き水、地下水
谷津田の湧水及び下流水路
若葉区
北八津
金光院谷津田
下大和田谷津、大草いきものの里
緑区下大和田谷津田
下大和田谷津田（猿橋地区）をはじめ市内の谷津田
市内の谷津田全域
千葉市緑区下大和田・猿橋地区の谷津環境
鹿島川流域の谷津田
谷津環境。 緑区下大和田（猿橋）谷津。 水瓶でした鹿島川上流域
緑区泉谷公園から大百池までの水環境
自分が住んでいる若葉区大草町一体（上水道がない、井戸水を飲料水として利用）
風呂場

Q6 水環境や水循環をよくするために、あなたが気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。

・気をつけたり取り組んだりしていることは、「ない」が323人(75.8%)と最も多く、次いで「ある」が103人(24.2%)でした。



選択肢	回答数
ある	103
ない	323
全体	426

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

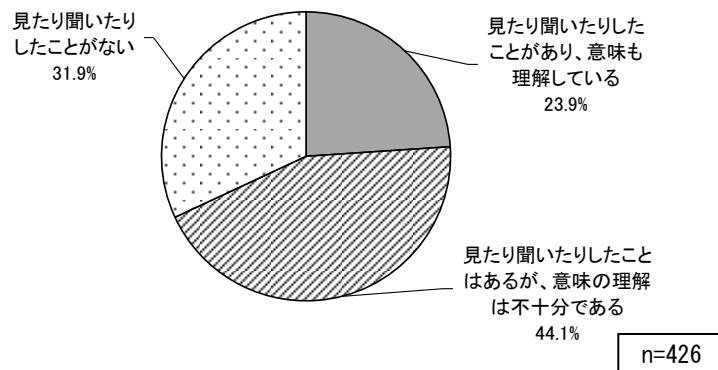
エコ
洗い物をする時に、直ぐに水で流すのでは無く、カットした布等で汚れを拭き取ってから、洗うようにしている
食器を洗う際、油や汚れをふき取ってから洗うなど、洗剤使用料を抑えるように気を付けている
食器などを洗う時に洗剤を使わない、油は拭くなどし水を汚さない
下水に油を流さないよう、食器を洗う前に拭き取っている
捨てる油などは紙に含ませ、流さないようにしている
フライパンなどの油は拭き取ってから捨てる
油物はそのまま流さず、ティッシュオフしてから洗う
油は下水に流さず、紙で拭き取る
油は拭いてから洗う
油よごれは拭き取ってから洗う
油を使用した物を洗う時は必ず拭き取ってから洗う
油の処理
油などを流さない
油汚れを排水溝に流さない
油や有害性のある液体は流さないようにしている
油をそのまま流さない
油性製品は極力流さないようにしている
揚げ物油を流さず固めて廃棄する。
油は固めて捨てる
調理過程で出た廃油等を流さないようにしている
できる限り油を水道に流さない
油を捨てない
油等を捨てない
油をちゃんと処理して捨てる
台所のなどの流す水を少しでも綺麗にしたい
使った水は綺麗にしてから流す
汚水に気をつける
汚水の排除、排水の浄化

汚水の処理を出来るだけして流す
汚水を流さない
生活污水を流さないように気を付けている
家庭排水に気を付ける。生物調査
台所排水に気を付けている
排水に気を付けている
排水環境
排水回数を少なくしている
下水に流してはいけない害のあるモノを流さないようにしている
下水を汚さないように
料理の油や汁を流さない
キッチンの排水について、油や調味料を、廃棄しない。
残飯などを水に流さない
不燃物を流さない
洗剤
洗剤に気を使う
洗剤の量を減らしたり
洗剤を最小にする
洗濯用せっけんを使用
生活排水、特に界面活性剤使用の削減
環境に優しい洗剤を使う。
食器用洗剤を使いすぎない
石鹼や洗剤などは自然に優しいものを使っています
浄水器を使う
大切に使う
水道の出しっぱなしはしない
節水
節水。ゴミのポイ捨てをしない
節水できるところはしている
節水には気を付けている
節水を心がけている
水を無駄遣いしない。牛乳などを流さない
水を汚さない
ゴミを捨てない
ゴミを捨てない、汚さない
ゴミは持ち帰る
ゴミを拾う等
ポイ捨てをしない
ポイ捨てしない、分別する、洗剤を減らす
台所のごみは細かいネットを利用している
食べ残しの汁物は庭に捨てる
生ゴミの水をきる
生きもののための米づくりや森の手入れ、生物観察会、ごみ拾いなどを実施している
山砂採取のため皆伐されてしまった場所に苗木を植えてきました。さらに奨励されている広葉樹を植えるようにはしている
随時、ごみ収集のボランティアに参加
環境を考える NPO で活動しています
森林ボランティアに参加して森林保全活動を行っています。
花見川流域のゴミの回収、水辺サポーターとしての水質調査

坂月川流域のゴミ拾いを坂月川愛好会と行っています
坂月川ビオトープの環境保全と坂月川流域の清掃
坂月川上流部および坂月川ビオトープの保全
小川の周りの除草作業や葎の整備
自然環境を保全する
植物を大切にす
水路の清掃、外来生物の駆除、在来生物の保護
緑区下大和田（猿橋）谷津の自然環境保全のため田んぼ、土水路の一部環境を維持している。谷津の貴重な動植物生息を維持
谷津田での生物多様性の維持
谷津田の保全（生きもののすみかを守るための米作り、自然観察会、環境学習、森と水辺の手入れ）、都川川遊び（水環境への親しみ、環境学習）
谷津田、湧水の保全
無農薬、無肥料で水田耕作を行っている
除草剤、農薬の利用をしないこととしている

Q7 あなたは「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。1つだけ選んでください。

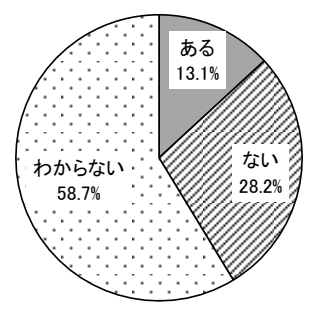
- ・「生物多様性」という言葉は、「見たり聞いたりしたことはあるが、意味の理解は不十分でした」が188人(44.1%)と最も多く、次いで「見たり聞いたりしたことがない」が136人(31.9%)、「見たり聞いたりしたことがあり、意味も理解している」が102人(23.9%)でした。



選択肢	回答数
見たり聞いたりしたことがあり、意味も理解している	102
見たり聞いたりしたことはあるが、意味の理解は不十分でした	188
見たり聞いたりしたことがない	136
全体	426

Q8 千葉市の生物多様性について、あなたが問題だと考えていること、または身の周りで気になっていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。

・問題だと考えていることは、「わからない」が250人(58.7%)と最も多く、次いで「ない」が120人(28.2%)、「ある」が56人(13.1%)でした。



選択肢	回答数
ある	56
ない	120
わからない	250
全体	426

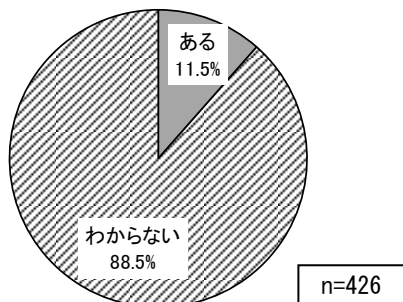
・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

森が荒れている
川が汚れている
川の近くを通ると、ゴミが溜まっている
海が汚い
海のゴミ
プラスチックゴミ
マイクロプラスチックの問題
自然環境の破壊
泉自然公園など環境に侵されないで残って欲しい
環境汚染
開発
繁殖できる環境の減少
生育の環境整備
生態系の変化が気になる
公園の樹木が伐採されている、ソーラーパネルが設置される、夜間の光害が生物に及ぼす影響
釣り禁止の大百池で大人が釣りをしている
川が消え、水路になっている。川が海に繋がっていない、遡上を阻んでいる。水田の水環境が農薬や耕作法の変化により破壊されている。外来生物の防除
自然と大多数の人間との自然の触れ合いが乖離している。
市内各所に見受けられる産業廃棄物の中間処理業者が野ざらしにしている廃棄物が流れ出し、土壌や地下水を汚していないか？
温暖化
現状は小川にメダカが多数生息している、又ギバチやホトケドジョウ等これらを未来にSDGsできれば嬉しい
言葉は最近よく聞きますが、実際、身近で体験している人は少ないと思います。例えば、小学生の頃から身近な環境の生き物を何年か通して知ることによって生物多様性を体感できると感じています
大草生き物の里で活動している。この自然を守りたいと願っている
市から啓発活動が届いていない
生物多様性について、市の職員の理解がまだまだ不十分でした
生物多様性に関する市政の予算的配分が不十分
固定観念が打破できない

耕作放棄地が増えている
市街化調整区域の山林等で事業場等に土地利用が改変されること
4年くらい前に都川の親水公園へ行ったが、40年くらい前には沢山見たザリガニが見当たらなくなっていた
昆虫が減った気がする
カブトムシがいなくなった
生き物を最後まで飼うこと
カラスがいる。怖い
外来種
外来種問題
外来種の鳥を見かける様になった
外来種が増えている
外来生物が多くなってきて、在来の生態系を崩している
外来生物が増えている事
外来生物が増えてきている
生きものの生育環境の劣化、外来生物の跋扈
外来生物のまん延による在来種の減退。心ない人による生き物のリリース。湿地や草地の太陽光発電所化や丘陵部の開発による生態系の変化など
外来種により在来種が減少している
外来種（ミシシッピーアカミミガメ、アライグマ等）のが増えている。田んぼや樹林地が放棄され荒れている
特定外来生物の駆除
アライグマ・ミシシッピーアカミミガメ等特定外来生物による既存種の減少
ウシガエルやキョンなどの外来種による影響、異常気象による風水害の影響で、里山の地形、環境、在来生物の多様性が失われつつある
市内各所でアライグマやハクビシンなどの出没が絶えない。水環境でもブラックバスやブルーギルによって在来種が圧迫されている。また、安易なコイ等の放流による影響も見逃せない
谷津田でアライグマ・ウシガエル・ミシシッピーアカミミガメなどが繁殖し、貴重種が脅かされている。イノシシによる踏み荒らしで農業継続が危ぶまれている
害獣との戦い。人間はバランスを設定したり維持する力が本当にあるのだろうかと懐疑的になってしまう
千葉市の生物多様性・ビオトープへの取り組みは、対象が希少種に偏りがちで、学校ビオトープライクな『ごっこ』を感じる。また、在来種の生存を脅かす外来種の駆除を伴わない『生物多様性』への取り組みは、疑問
花見川のナガエツルノゲイトウの繁茂
水辺の生物多様性が減少していること

Q9 あなたにとって最もかわりのある「生物多様性」を教えてください。1つだけ選んでください。
「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。

・かわりのある「生物多様性」は、「わからない」が377人(88.5%)と最も多く、次いで「ある」が49人(11.5%)でした。



選択肢	回答数
ある	49
わからない	377
全体	426

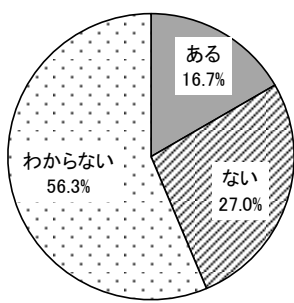
・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

生態系の多様性
地球温暖化により絶滅する生き物がいること
庭の生態系
山の木々を伐採し過ぎたりすることで、野生の動物達の食べ物がなくなり町に出てきている事
魚
海の魚
東京湾の魚類の豊富さ
昆虫
蛍がいる
蚊が多い
害虫駆除
家庭菜園と虫たち
夜間が眩しいので、セミ等の虫の生態バランスが崩れて、よく鳴いているように思う。千葉公園の照明も以前よりも少なくなって良かったと思う。以前は、照明が多くて異常でしたと思った。
食べ物、空気、土壌、水
川、海、谷津田、ビオトープ、湧き水、地下水、森林、公園、昆虫、魚、鳥
外来種の生物・植物が拡大し環境を破壊している
在来生物が侵食されない事が大前提
生き物を最後まで飼うこと
生き物を守るため、食糧廃棄を減らす
フードロスを出さない
食べること
食料
食物連鎖
私達が日々食べている農作物、残留農薬で自分の体内環境を損なっていないか、水辺や森に居る生き物はそのバロメーターになっているのではないかと。多様な腸内フローラが健康な証でした事と同様に水環境・水循環の豊かさは千葉市に住むすべての人々に関わる重要なものだと思います。
プラごみを少なくする
ゴミを流さない
使った水はきれいに流そう
節電や節水をする
洗剤

地下水の汚染
コロナ
子供が小学校3年の時から毎年、下大和田の谷津田で米作りを体験した。自然観察会などにもいった。外で学ぶ貴重な体験となった
生物多様性は身近な庭から、近くの公園、河川・田畑・里山とつながっていることで、多様な生物がすみ、人間・生物・自然・社会などとのバランスで成り立っていると思う。
生物多様性を支えているのは、水ではないかと思います。生物多様性がまだ維持できている水環境、その一つが谷津田・里山です。現在この環境と生き物たちの保全活動を行っています。 無農薬、無化学肥料による米づくりはその具体的な手段と考えます。
千葉市郊外には生物多様性が豊かな谷津田、里山があり、そこで生き物を守るための田んぼづくりを仲間と行っている。
谷津田環境の荒廃による生物多様性の劣化。 広い人工林地が荒廃、放置されている。鹿島川の上流域で水の涵養林としても大切なところで緑地再生が急がれる。 谷津、緑地、畑地の人為的改変による環境悪化を懸念している。太陽光パネルが敷かれヘリポートまで谷津際につくられ、サシバも来なくなった。 昆虫、鳥の絶対数が減った。特にトンボ、それもアカネの仲間の減少は際立っている。水環境の悪化を懸念。 徹底した外来種対策。五月雨的な駆除で無益な殺生を繰り返している。 水田を死の水環境から生きた水環境にする事を真剣に考える時に来ている。
緑区下大和田谷津田での生物多様性あふれる場での米作り
人間の好みによる選択的な『生物多様性』ではなく、より多くの種が生息可能な環境・生態系を再生・保全すること
都市近郊の田んぼや丘陵地を切り開いて宅地開発やメガソーラー建設が行われる場面を多く目にするようになりました。少子化で保育所や学校は統廃合されているのに不思議です。外来種や異常気象と違い、人による開発という、コントロールできる事柄が原因で多様性を著しく損なうのはもどかしい限りです。
環境省の委託で希少野生動植物種保存推進委員等をしているので、調査のたびに生物多様性の低下を感じている
環境保全が必要です、自然のまま放置されたら、生物多様性は維持出来ないと考えています。 生物多様性の維持は程度に人による環境整備が必要と考えています。 現状の生息している、生物調査やそれらを生息維持に適した環境整備方法を確認し、保全する。
NPO 活動の拠点が1番目の当たりする場所です。沢山の動植物がありそこで命が生まれまた死んでいく。その場所でしたから存在する動植物、全てが関わりあって生きているのがよく分かります
地球規模の諸問題はともかくとして、自分の生活圏（徒歩行動範囲）において季節折々に生きものが躍動したくましく生きているさまに接し、安らぎとか、学習機会となっている。
ともかく谷津田、里山を保全する
谷津田の貴重種・・・米作り等の手入れによってメダカ・ニホンアカガエル・ヘイケボタル・トチカガミ・サンショウモなど貴重種が守られている。 鳥獣被害・・・アライグマなどの外来種からの在来種への脅威 ヒートアイランド現象の緩和・・・生物多様性によりヒートアイランド現象が緩和され快適な住環境を享受している 農業・・・生産物により生かされている。 海の生物多様性・・・魚類や海藻など豊かな食生活をいただいている。
季節ごと毎日の暮らしの中に、生き物との出会いがあります。 家の周辺にやって来る鳥やチョウたち、壁を這うヤモリと庭で日光浴するカナヘビ、鳴き出すアマガエルや昆虫を捕えるクモ等それぞれが命の営みを見せてくれると、自分も地球上の生き物の一員でしたことを再認識出来ます。 坂月川ビオトープエリアはもちろんのこと、自転車で移動する道中でも生き物との遭遇があり、予想外の楽しみを感じているところです。
里山が荒廃していること。里山所有者に環境保全義務を強化すべきでした。水辺の生物相が貧弱化している。農薬散布の制限を考えるべきでした。
坂月川愛好会の人々の活動で、ビオトープの整備や川の生き物調査、チョウ、野鳥、植物の棲息調査でいろいろな生き物が棲息していることを教えてもらいました。そして、この坂月川流域の加曽利貝塚縄文の森が猛禽も棲む生物多様性に富む大変貴重な場所でしたと知りました。
まずは、身近なところの自然を毎日記憶することで変化見えてくる。その蓄積で自然の変化が見えてくると考えている。多様性は特別なことをすると考えるのではなく、毎日の生活の中で小さいことでいいので守ることを一つ決めてそれを継続していくことで目には見えないが大きな力になると信じてやり続けることだと思っている。

Q10 生物多様性について、あなたが思い描く未来への夢を教えてください。1つだけ選んでください。
 「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。

・思い描く未来への夢は、「わからない」が240人(56.3%)と最も多く、次いで「ない」が115人(27.0%)、「ある」が71人(16.7%)でした。



選択肢	回答数
ある	71
ない	115
わからない	240
全体	426

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

今の生態系を保全する
里山環境の復活
昭和時代までに存在した里地里山の生物のにぎやかさを復活させたい。
都市がこれ以上拡大せず、都市と山里、自然界がしっかり隔離していること
都市と里山との融合、自然豊かな人間もほかの生き物も住みやすい都市
具体的になりますが、坂月川とその流域の里山、加曾利貝塚縄文の森は、こんな、住宅街にあるところですが、近隣の人や近くの小中学生が生物多様性を身近に体験できる場所として、川の始まりの坂月川やその周囲の里山を守ることが大事だと感じています。
肉体労働を否定せず、積極的に自然界に自然を壊さず介入し、2次的自然（里山・里海）と調和した未来。自然の循環システムに乗っ取った未来。
自然環境の保護
森が増えてほしい
昆虫が飛び交う野原
魚がすむきれいな川
生物の種類が増える
綺麗な海
海の生態系を守る
千葉は海に囲まれているので水環境を大事にする
キレイな環境
きれいな水質で生物たちが暮らしていけること
緑と水と空気の汚染が無くなる
好循環
子供、孫の代になっても、今より環境が悪くならないでほしい
日本古来の環境を損なわない事
田んぼの小さな生物も生きられる環境。人間も気持ちよい森林。
豊かな自然環境の保全
環境による生物の絶滅
生態系が本来あるべき姿で動いていくこと
外来種の撲滅
外来種に負けず、国内種も生き残る
特に水環境の外来種に関しては、安易な放流や遺棄・商業目的の放流（釣具屋や釣り人によるブラックバスの放流）の防止が必須でした。個人的にはブラックバスやブルーギルの継続的な除去作業や家庭からの遺棄生物の引き取り活動を行いたいが、現在老々介護の身でなかなか実行できずにいる。このような作

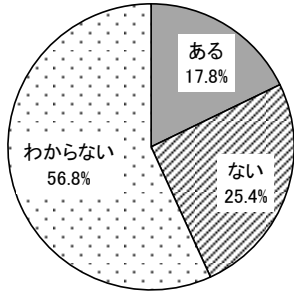
業が商業ベースで成立するならば、外来種問題の改善の見込みはあるが、SDG'sを踏まえた全国的な取り組みの盛り上がりも必要だろう。
在来種が住み良い環境の構築
蛙や蜚が沢山いる環境
いつでも親しめる自然
自然豊かな地域の保持
共生
生き物が自然との共生
多彩な生物との共生
絶滅危惧種が回復すること
生き物が減らないで欲しい
いろんな動物と触れ合える
捨てられる生き物がいなくなる
自然と共生できる場所が増えてほしい
自然との共存
大型開発地、宅地、田畑、山林それぞれに異なった環境があり、(人間も含めて) 適応した生き物が住んでいるので、それぞれの領域を侵さず、バランスよく共存できるとよいと思います。
人とほかの生物との距離感がバランスの取れた社会
人間とうまく共生できること
人間も生物の一部で特別な存在ではない
人間が一番偉いと言う考えの人がいるのは悲しい事に思います。動物、植物、共に助け合って、生きる様になりたいものです。
人も生物の一部でしたので、多様な生物がバランスを取りながら暮らす社会
人種や出身で人を見ない
常日頃から我々を取り巻く自然環境に目を向け、生物を慈しみ、大事にしていきたい。また、汚染されていない安全安心な農水産物を食べて、我々自身も心身ともに健康で豊かな生活をおくりたい。それには常日頃から自分を取り巻く環境に目を向けるべきだ。
日本でマイナーな食べ物の普及
食材を輸入に頼らず、国内で賄えるような安心・安全な土壌作り
水道水が飲める
水がおいしい
どんな水でも再使用する
浄化槽必須
野良猫が過ごしやすくなってほしい
千葉市内には多くの谷津田があります。そこは動植物にとってとても良い環境が作れる恵まれた立地です。そこに染み出る水を守り谷津田を豊かな土地にする事は千葉市の財産になると思います。その谷津田に子供達がもっと身近に触れる事が出来れば子供達は自ずと生物多様性を肌で感じる様になると考えてます。勉強するのではなく、自然とを感じる、理解出来る、そんな環境を作れるのが理想です。
谷津田の田んぼや里山の自然環境が、農業や林業、レクリエーションの場、生活の場として生き生きと活かされている
生物多様性の保全は、医療福祉問題や経済活動問題に比べて健康や利益に直接結びつかないというのが、一般市民・県民の考え方だと思います。高等学校でも生物多様性や生態系サービスについて学習しますが、ほとんど理解されていません。本来ならば、すべてのベースになる環境問題が軽んじられています。行政の予算配分も圧倒的に経済活動優先になっています。こうした現状をどう変えていけばいいのか、仲間たちと度々話し合っています。たとえば、小学校の学習活動に作物栽培といった科目を設けたりして、生きものとのつながりを密にするとか。私としては、今の谷津田を買い取って千葉市に寄付して、千葉市が維持してくれたら最高です。
地球規模の問題は別に置くとして、私たちが住んでいる環境についてこう考えています。管理された谷津田、保全が行き届いた森、人々の憩いの場となる雑木林、そして人々の活動の場、これらが小さな面として点在するのではなく、生活の場と一続きになるようコリドーで結ばれ、多くの生きものが自由に行きかうことができる環境となること。

<p>水田に生きものが復活すること。 川が海に繋がり、アユやウナギが遡上出来る環境。 谷津田環境の復活。(谷津田では生業としての米づくりは難しいが) 市民・行政一体となって一部水田の復活、水環境、湿地環境の維持し、市民の参加型憩いの場として環境が維持出来ると良いと思っている。 林地が緑地として復活。 在来生物による在来種への圧がなくなること。</p>
<p>農地・山林(緑地)を保全し、併せてその水環境も維持する。 多様な環境、空間を緑の散策路等でネットワークする。</p>
<p>今、残されている自然の必要な部分を保全・管理していき、将来の世代に残せるようにする</p>
<p>街中に緑を残しつつ、その緑を適切に管理して、様々な人が利用し、安らぎのある場所を作っていけたらいい</p>
<p>現状は谷津田の保全作業に追われて、生物多様性まで手が回っていない、現状は高齢者数名で細々と保全作業を実施している、ホテルの生息維持の水路のドロ上げすらままならない状態でした、若い人が加わってこれらの作業をやってくれれば、一つでも、継続維持ができると思っています。</p>
<p>谷津田保全事業の重要性への理解が深まり、谷津田が特別緑地保全地区として保全され、多くの人の手が入ることで、多様な生きものが絶滅することなく生息している。 外来種対策について十分な議論が行われ、取り組みが進むことで、最終的には殺処分する動物が減少すること。 生物多様性豊かな千葉市の価値を、市としてもまた市民自身も理解し保全の必要性・重要性を知って多くの人が取り組み、予算的にも充実し、専門の職員が配置されること。</p>
<p>現況の自然環境が未来に継続的に維持されており、市民の憩いの場になっている。</p>
<p>現在は放置されている周辺土地をビオトープに準ずる整備保全し、生物多様性を実感出来る場所として少しでも増やして行きたい。微力ながらその一助を担いたいと考えています。</p>
<p>首都周辺の政令指定3都市の中で最も自然が豊かな千葉市。その資産の保全と利用をもっとアピールして、市民が誇れる様な、また移住したいと思える様な緑溢れる自然と共存出来る町になって行く事。</p>
<p>未来の千葉市民がこの町の、海、市街、田園について誇れるような風景を残すことができれば生物多様性も維持されて素晴らしい街になっていると思う。子孫に残したいですね</p>
<p>『生物多様性・ビオトープ』などのキャッチコピーを振りかざしたり・力んだりしなくても、住民全体が自然環境の貴重さを理解し、その恩恵を楽しむ余裕という文化を持った千葉市</p>

Q11 生物多様性が豊かな未来にするために、あなたはどのような取組みが必要だと思いますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。

《必要な取組み》

・生物多様性が豊かな未来にするために必要な取組みは、「わからない」が 242 人 (56.8%) と最も多く、次いで「ない」が 108 人 (25.4%)、「ある」が 76 人 (17.8%) でした。



n=426

選択肢	回答数
ある	76
ない	108
わからない	242
全体	426

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

環境保全
積極的な自然保護
今の自然を大事にしてほしい
現在ある緑の保全
緑を増やす
水環境の保全
環境美化
便利さを求めるだけでなく、自然を残すような整備の仕方を考えてほしい
外来種駆除
外来種の駆除
外来種の駆除、川の浄化
外来種対策
外来植物・生物対策（捕獲処分だけでなく、良い方法があるなら有効活用も）
外来生物の駆除など
外来生物を入れない
河川流域や海岸エリアの整備
川の清掃
川をきれいにする
川や海に汚水を流さないように抑制する
浜田川の再生（悪臭解消）
海浜の保全
自然公園の充実
蛙や蛍の保護区を増やして欲しい
釣り禁止パトロール
水辺のゴミの回収
水環境を大事にする
環境整備
設備投資
公園を千葉の本来の自然に近づける
公的、私的を問わず、市内の森林資源の保全

ペット店での生体の販売
花粉症の原因となる杉の植え替え
井戸水の検査
浄化槽付ける
浄水場
水道局や水事業を外資系に売却しない
ゴミの減量
ゴミの分別を厳格にする
ごみのもっと多い区分け
外国の方もわかりやすい、ゴミ捨て方法の案内
プラごみの減量
自然を汚すような不法投棄をしない人間づくり
廃棄物の早期回収、汚染物資の排除
PR
配分する
迅速な行動
政策・制度の改変
公園などの観光資源に過度に投資しない。
市民の森の手入れ
市民、学校教育
ビオトープを含む環境維持。調整池・学校プールの生物の見地からの活用。
多くの人に大切さを知ってもらうこと
市民とともに活動を続けていくべきでした
自然保護を市民に伝える
谷津田環境維持の方法を一緒に考えて行って欲しい。
谷津田・里山は生物の多様が多い環境です。次世代へ残す資源・資産として、可能な範囲で確保する
見学会などのイベント開催で失われゆく生物多様性を傍観する以上に、より好ましい環境・生態系を再生するための積極的な事業への投資
千葉市職員の中に数人でいいので生物多様性を本気で勉強する人材を育成すること。すべては、人材育成にかかっていると思う
開発地のコントロール、都市機能の集約
宅地造成の制限
市街化区域の山林・農地をこれ以上減らさないよう、実効性のある施策を講じること。規制と何らかの助成若しくは借り上げ又は買収。
産廃業者並びにリサイクル資源置場に置ける施設の在り方をどんどん厳しくしていくべきです。
環境の人為的改変への防御。谷津が産廃、残土の置き場にさせない、埋め立てさせないなどの対策。緑地の保全（涵養林としても）太陽光発電施設などのゾーニングを設定して緑地を守る。外来種への徹底的な防除と簡易な処分設備を設けること。
生態系を維持するための「特別緑地保全地区」は地権者にまかせるのではなく、保全管理の主体は行政が行うべき。
市民の口に入る水、その源流となる谷津田の保全とその周辺に乱立する産廃業者への行政指導強化
民間ボランティアに任せるだけでなく、市がもっと柔軟に対応して実践して欲しい
私のような半公的な調査を申請なしにできるよう、あるいは申請を簡略化して欲しい。
市内および近隣市町村との環境保護政策およびそれに関する活動の支援策
開発するばかりでなく空き家住宅の有効活用
無駄な照明を減らす。ソーラーパネル設置の規制。樹木を伐採しない。樹木を伐採するのではなく、移す。
保全作業に必要な、道具類の保管（倉庫）等を現地近くに確保してほしい、駐車場等も近くにできれば非常に助かる
千葉市の生物多様性のポテンシャルを調査、評価し、都市計画、農村計画に活かすこと。

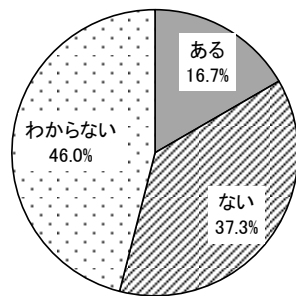
特定部局だけが生物多量性重視の施策を行う今までの行政姿勢では全く不十分でした。すべての部局が生物多量性に配慮した行政姿勢に転換しなければならない。景観重視、効率重視の公園施策、道路施策、河川管理を転換する必要がある。また、市役所・区役所その他市の施設すべての土地利用についても全域をビオトープの考えを導入するなどして、多くの生きものが息づき、施設利用者も楽しみながら学習できる空間とする必要がある。

市が取り組むべきこと

- ①アライグマ・ウシガエル・ミシシッピーアカミミガメ・・・出現調査、農政・公園・環境間で情報交換を徹底し状況共有、個々について対応策策定（国の対策も不十分でしたが、市として主体的に対策を）とその計画的な遂行（繁殖を押さえ込むことで最終的に殺処分を減らすこと）、市民・活動団体への情報提供
- ②農業が生物多量性保全に果たす役割を再認識し、イノシシ対策をおこない農家の耕作放棄を防ぐ
- ③有機農業の推進
- ④谷津田保全に関わる主体的な市民を育てる 5 谷津田保全地域を特別緑地保全地区に指定する

《自身が取り組みたいこと》

- ・生物多様性が豊かな未来にするために自身が取り組みたいことは、「わからない」が 196 人(46.0%)と最も多く、次いで「ない」が 159 人(37.3%)、「ある」が 71 人(16.7%)でした。



選択肢	回答数
ある	71
ない	159
わからない	196
全体	426

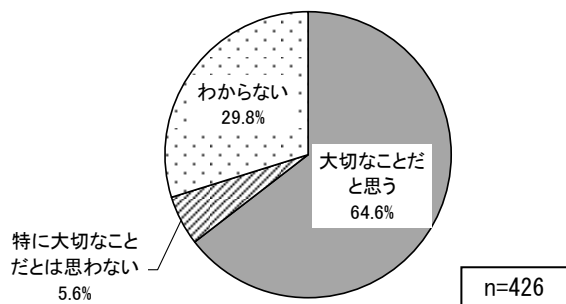
- ・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

洗濯や食器洗いなどに使う洗剤を環境にやさしいものに替える
森林保全
森林ボランティアに参加して森林資源の保全作業活動に従事しています。
自然環境を汚さない
自然を大事にする
自然再生士でした
水環境を大事にする
自然を人間の便利のためだけで壊さない
海浜の清掃
清掃など参加できることは、参加する
川などを汚さない
節水
節電や節水
水の使い方への取組
水の無駄遣いを無くす
洗剤
合成洗剤を減らす
油や洗剤に気をつける
油を流さない
ごみを流さない
排水を減らす
節電
節電などの地球温暖化対策
家庭のゴミ等廃棄物の順守
ゴミを拾う
ゴミ拾い等、気が付いた小さな事から少しずつ
徒歩圏内の道路や水路ゴミを拾って歩くこと。特定外来生物の侵入・定着を阻止すること。生物多様性について人々に語り続けること。
ゴミ等を捨てない
ゴミを出さない
ゴミを減らす
生ゴミの減量
ゴミ出しの際、キッチンと分別する事
引き続き、ゴミの分別と正しい廃棄。ロス

ポイ捨てをしない
ゴミの持ち帰り等
空き缶や空きペットボトル拾い
できるだけゴミの出ないものの買い物
プラスチックゴミが、海に入らないように
プラスチックの削減
プラスチック製品は極力買わない
環境汚染しないようにできることから行動する
環境汚染をなるべくしないような生活
地元の食材や、環境にやさしい商品を買う
分解されやすい商品を購入
庭の手入れ
本を読む
中古住宅の購入
CO2の削減など
今の食生活の徹底
全てが有限でしたことを意識していく
子ども達への生物多様性の教育
子ども達と一緒に体験を通して、生物多様性を伝えていく。地産地消を推進。
近くの環境保護（ゴミ拾い等）や地域住民に対する親子自然教室など
保全された区域の整備・活用
自然環境を維持するための活動
特定の種の保護ではなく、より多様な種の生息を可能とする環境・生態系の再生・保全活動
啓蒙イベントなどへの参加
市民として活動に参加していきたい。
あなたが取り組んでいきたいこと（勉強会などがあれば、参加してみたい）
今ある環境からの悪化がないよう、また、多様な生物が生存し易い環境作りの取り組み
今の活動を今後も取り組んでいき、仲間を増やしていきたい。
他各団体と共同して、環境保全の体制の違いを許容しながら構築して行きたいです。
今後とも小さな身近なことで生物多様性に関わることを大事にして過ごしたい
現状生息している生き物（メダカ、ニホンアカガエル、ヘイケボタル、）その他林の整備を実施し、野鳥の楽園としたい
特に水環境の外来種に関しては、安易な放流や遺棄・商業目的の放流（釣具屋や釣り人によるブラックバスの放流）の防止が必須でした。個人的にはブラックバスやブルーギルの継続的な除去作業や家庭からの遺棄生物の引き取り活動を行いたい
里山や谷津田環境の維持活動
20年間続けてきた谷津田環境の維持保全
谷津田の保全活動をより多くの人に伝え、関わる人を増やす。生物多様性についてや保全の大切さを多くの人に伝える。
谷津田の生物多様性を保全するために、生き物のための田んぼづくりを進める。

Q12 みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。1つだけ選んでください。

・「生物多様性」を守っていくことについては、「大切なことだと思う」が275人(64.6%)と最も多く、次いで「わからない」が127人(28.2%)、「特に大切なことだとは思わない」が24人(5.6%)でした。



選択肢	回答数
大切なことだと思う	275
特に大切なことだとは思わない	24
わからない	127
全体	426

Q13 千葉市の水環境・水循環と生物多様性の保全・再生への取組みや計画づくりについて、ご意見があれば教えてください。

- ・海、川を綺麗にして欲しい
- ・今からでもそのような時代の川に戻してほしい。
- ・河川整備がもっと必要だと思います。
- ・河川の水質調査や生態調査を大々的に行えば一般の人でも気にかけてくれるようになるかもしれない
- ・川がきれいになったら嬉しいです
- ・川に生活用水を流さないようにする。
- ・川の流れている地域がないのでわからない
- ・川の水はやっぱり汚い
- ・川沿いの自転車道の整備やトイレの設置
- ・花見川には昔ウナギの稚魚がいた時代がありました。
- ・支線都川流域など公園整備が滞っているように感じる。クラウドファンディングなどしてみたら良いのでは？
- ・水環境は流れている川だけの問題ではありません。地面に染み込みそれがまた湧き水となって川になるのです。なので、川の環境作りや水質調査・改善はもちろん必要ですが、その水を作り出す大地の事から考えて欲しいです。
- ・子供が遊べる川辺があったらいいなと思います。
- ・リニア問題で揺れている静岡県のように「水」を大事にする地域となりますように。
- ・飲料水などの水質保持は大切だが、それ以外のことは自然に任せておけばよいと思う。
- ・自然の管理や水を大切に使う事。
- ・水源や上流を大事にする。
- ・水と接する公園を増やして欲しい
- ・他県のきれいな水のある所へは、よく出かける。千葉市では、山がないせいか、きれいな水のある環境とは無縁だと思っていた。子供の頃は、近所の田んぼの脇から、水が湧きだしていたり、きれいな小川があったりした。自然を身近に感じられる公園などが、近所にもできるといいと思う。
- ・まずは保全に目を向け、徐々に再生を図る手順なのだろうか。
- ・荒れている自然林などを市民を巻き込んで整備して欲しい
- ・森林を増やす
- ・おゆみ野の人口蚩は悪くない
- ・外来生物も生物多様性の保護対象なのか？
- ・みなと公園の、鯉が心配です！先週の日曜日に姪の子が、鯉に餌をあげると楽しみにして池に行ったのですが、鯉が1匹もいず、ガッカリ心配しています。
- ・ゴミなどを捨てない
- ・ゴミを放置しない
- ・ゴミ、二酸化炭素の排出をどのように抑えていくのか説明がほしい
- ・市民のマナーも褒められたものではありません。毎日、河川にゴミを捨てる人があとを絶ちません。市民がともに環境美化活動ができるように、行政の積極的な応援を期待します。
- ・水辺のゴミ拾い運動を町内会活動に取り入れる
- ・昔のように粗大ごみを無料化に戻し、ゴミを手軽に捨てられて処理も健全に行う社会。合成洗剤など直接水資源を汚染する商品の販売禁止。

- ・カラスが怖いので何とかして欲しい。怖いし図々しい。
- ・生物多様性を維持するには、水環境や水循環が不可欠だと思うので、そのための努力が求められている。
- ・多様性など難しい、具体的にできないことで問われると回答は困難だと思います。
- ・水環境、水循環と生物多様性の保全、再生への取り組みや計画を市民に意識させる運動や報告が必要だと思う
- ・お水が美味しい
- ・おいしい水が飲めているだけで十分とは思いますが、景観的な水場もきれいだと思いが豊かになるなと思います。千葉公園の池の周りをよく散歩しますが、気持ちがいいです。これからも市内の見どころの1つとしてきれいさを維持できるように、市民としてがんばりたいです。
- ・綺麗な飲水を提供して欲しいです
- ・綺麗な水質を、維持する努力
- ・千葉市は安心安全な水に取り組んでいて、信頼出来ている。
- ・塩素を減らす
- ・水道の使用料金の明細書をもっと分かりやすくしてほしい。国民の節水をもっと増やして貢献
- ・テレビのCMで、油ギトギトのお皿を強力洗剤で洗うと言うのがありますが、水環境、水循環を考える時に、とても、いやなCMだと、いつも思います。こういうのを、何とか出来ないもののでしょうか？
- ・家庭内でなるべく汚水を流さないようにする
- ・下水道の整備
- ・水道管の整備や工事をきちんとしてほしい
- ・水道料金を適切な値段にする
- ・水質改善のために、ほかの地域の成功事例をベンチマークにしたほうが良いと思います。
- ・人工的な手を入れず、本来の自然に近い地域を保存していただきたい。
- ・このような取り組みを多くの市民に知ってもらい、支援してくれているグループなどへの支援
- ・ボランティアが活躍して、水資源を守る。
- ・ボランティアの方等で大事さを子供たちに伝えていく事だと思います。
- ・「とにかくお役人は、役所は」と言われがちですが、古来からのやり方、考え方を主にするのではなく、若い人たちの柔らかな考え方、発想、ひらめき、などをどんどん取り入れて、若い人達もいきいきと活躍させてもらいたいです。
- ・千葉県「生物多様性千葉県戦略」や「いすみ生物多様性戦略」のように、市民や研究者の声をボトムアップした計画にして欲しい。100年後の千葉市民が見て「この計画があったから千葉市の環境が守られたのだ」と言わせるような計画を策定してください。
- ・行政は河川を雨水本管としか考えておられないように思います。大雨のたびに河川に大量の雨水が流れ込み、水辺の生き物への影響や海域への養分の減少は計り知れないものがあると思います。これ以上、市街地開発などによる雨水排水を増やすことなく、涵養林の機能を回復させて水循環の健康回復を行うことが必要ではないでしょうか。
- ・生物多様性の問題を千葉市の一部の部門の課題としないでいただきたい。
- ・下水道に流された人間の排泄物が現在はコンクリートの材料として使われていて、持続可能でないです。江戸時代のように田畑に戻すシステム作りが重要だと思います。
- ・水環境・水循環の視点で、生物多様性とのかわりが市民にも分かりやすく、市民も取り組む計画になることを期待しています。
- ・それに関わる皆さんはもっともっとファンタジーを膨らませて子供達が将来なりたい憧れの職種に

して行ってください。

- ・千葉市では太陽光発電施設の設置が主体になると考えられるが、田んぼや森林を潰して設置することが懸念される。
- ・千葉市内の自然環境のポテンシャル評価を行い、高い箇所は太陽光発電施設の設置が回避されるようなネガティブゾーニングが必要と考える。
- ・個人的には、子供のころにオニヤンマを捕まえたとかオタマジャクシを捕まえて育てたとか、カワセミやタカを見た、ホテルが毎年見られるとかの多くの経験が、その後子供を持った時とか老後に思い出されて、育った千葉市はこんなに良い環境だった、このような環境は守ったほうがいいと思ってもらえるよう、経験してもらえるプログラムができればと考えています。
- ・自然や生物の大切さや水とのかかわりがわかるような話しができる人から話を聞く機会が小学校などでしたとよい。
- ・市全体の共通課題と皆が認識していただきたい。
- ・とくに多くの税金をかけて取り組むべきとは思わない
- ・企業局には頑張って広報活動をやしてほしい
- ・市政だよりなどで判りやすく発信してほしい
- ・生きていく上で水はなくてはならないものと分かってはいても説明したり理解したりするのは大変難しい分野なのでもっともっと視界に入るようPRしてほしい。
- ・多くのことを知っているわけではないので、市が行っている取り組みをもっと広報してほしいと思う。
- ・詳しく知らないため、コロナが収まれば知れるような機会を設けていただけるといいかもしれないです。
- ・こうしたアンケートの声が活かされることを切に願います。
- ・自分が何ができるかは、まだわからないのですが、すでに実行されている方の行動や意見を共有していただけると、参考になるので嬉しいです。
- ・素晴らしいことを行っているのに、知らないことが多いので、もっと多くの人たちにこの取り組みを知ってもらえたらと思います。
- ・千葉市が、どのように取り組んでいるのか、どのような計画づくりをしているのか、どんな未来を目指して、どのようなことをしているの、もっと市民に向かって声を大にしてどの世代にも分かりやすくアピールした方がよいと思います。
- ・もっと住民に訴えかける、理解を求める取り組みが必要と思います。
- ・千葉市で、例えば楽しみながら環境を考えるイベント等を開催していただけるとありがたい。
- ・環境問題はこれからの行政の花形部署になって行くと思います。
- ・国の温対法では、再生可能エネルギーの取組の促進を行うため、自治体では促進区域の設置が求められている。
- ・千葉市生物多様性戦略には、このことを位置づけしてほしい。
- ・里山、里地、里川、里海と流域全体を対象として計画策定すべきでした。
- ・どこかの会社に整った形の計画を作らせるのではなく、市民から提案や意見をきちんと吸い上げ反映させた計画にして欲しい。
- ・生物多様性が大事なことと、千葉市が考えているようですが、現状はほとんどボランティア活動者にオンブに抱っこ状態です。お互いに目標を持って、年間計画を立てる、それらを実施するのに必要なことをお互いに考える必要あり。
- ・近年の目に余る宅地開発とメガソーラー建設は、安全な水・住み続けられる街づくり・海の豊かさ・森の豊かさ、といった目標から逆行しており、行政が部署を越えて適切なバランスを見据えて進め

てほしいです。

- ・水環境というのは水系を無視したピンポイントでの改善は、どうしても一時的なものになってしまう。水系ごとに計画性・継続性を持って取り組むべき問題でした。つまり、近隣の市町村を巻き込んで行うべきでした。ただ、千葉市に関していえば、鹿島川水系・村田川水系以外は、ほぼ市内で完遂できる環境にあるので、今後を期待したい。

また、自然保護活動をする団体との連携や、資金的援助も必要であろう。その連携の中から水源域の問題や安易な太陽光発電・石炭火力発電などの問題へのつながりも見えてくると思う。

- ・これからも持続可能な取り組みを
- ・現在の取組を理解してないので、よく分からない
- ・市が積極的に取り組むべき
- ・言うは易し、行うは難し。
- ・一朝一夕で出来る事ではないので継続して取組んで欲しい
- ・一朝一夕に出来る活動でもないので、長期に続けられるような支援をお願いします。
- ・今までの生活の中で断水したり、生物の絶滅危惧などのニュースに触れることがなかったのでこれからは周りの状況に注意をはらって生活します
- ・頑張ってください
- ・頑張ってください
- ・こうなればいいなと頭では思い描いていても、実際、実現するにはどうしたらよいか動き出せない。
- ・個人個人の意識が大事
- ・素晴らしい事だと思う
- ・積極的に進めてください
- ・そこ1点だけではなくそれを増やさない人間づくりをしなければ永久に終わらないと思う。
- ・出来る事から迅速に行動する。
- ・特にありませんが、水環境・水の循環と生物多様性について大いにPRすべきだと思います。
- ・まだこの地に住み始めて間もないが、思っていた以上に自然が残されていると感じるので、これからも大切にしていかななくてはならないと思う。
- ・もともとあまり考えたことがなかったので重要な事なのかどうかも分からない。
- ・やるからにはちゃんと結果を出してください
- ・良くわからないので勉強中です
- ・立派な完成品を作るのではなく、未来に継続出来る環境づくりと不測の事態に対応する柔軟性を併せて、計画に入れ込んで欲しいです。
- ・所詮人類が勝手にしていることなので、大きな地球のシステムの前では無力なのでなにもせず、結果的に人類が減びるのであればそれでよい。地球の歴史の中で人類だけが永遠に繁栄し続けようとする姿がそもそも人類のエゴであり、驕りでしたと考えている。

2 小中学生向け

1) 実施内容

下記の小学校12校の5年生、中学校12校の2年生に実施した。

分類	区	学校名	回収数(枚)
小学校	中央区	弁天小学校	36
		仁戸名小学校	26
	稲毛区	弥生小学校	27
		都賀小学校	66
	花見川区	花見川小学校	38
		さつきが丘小学校	29
	若葉区	坂月小学校	10
		千城台みらい小学校	0
	緑区	椎名小学校	35
		土気小学校	59
	美浜区	高浜海浜小学校	31
		高洲小学校	40
中学校	中央区	末広中学校	71
		松ヶ丘中学校	97
	稲毛区	轟町中学校	120
		都賀中学校	116
	花見川区	幕張本郷中学校	162
		花見川中学校	74
	若葉区	千城台南中学校	73
		更科中学校	11
	緑区	おゆみ野南中学校	230
		有吉中学校	232
	美浜区	高洲中学校	106
		高浜中学校	64
小学校 小計			397
中学校 小計			1,356
合計			1,753

小中学生向けに実施したアンケート調査の内容を下記に示します。

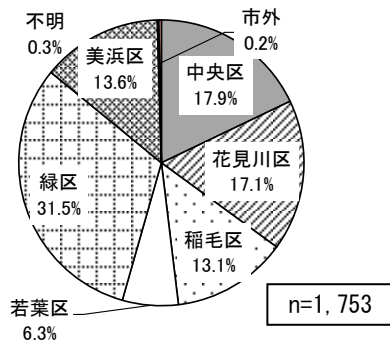
問	設問
1	あなたの住んでいる所について教えて下さい。1つだけ選んでください。
2	あなたのまわりの市内の水環境や水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。
3	市内の水環境や水循環に関係している場所でああなたが大切にしたい場所がありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、場所の名前などを教えてください。
4	水環境や水循環をよくするために、あなたが気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。
5	あなたは「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。1つだけ選んでください。
6	あなたがふだん遊んでいる場所、これから遊んでみたい場所を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をしてください。また、「その他」を選んだ方は、場所の名前を教えてください。
7	あなたがふだんふれあっている生き物や、これからふれあいたい生き物はいますか。それぞれ1つだけ選んでください。「いる」を選んだ方は、生き物の名前を教えてください。
8	千葉市の生物多様性について、あなたが問題だと考えていること、または身の周りで気になっていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。
9	あなたにとって最もかかわりのある「生物多様性」を教えてください。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。
10	生物多様性について、あなたが思い描く未来への夢を教えてください。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。
11	あなたは生物多様性を守っていくために、何か取り組んでいることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方はどのようなことか教えてください。
12	生物多様性が豊かな未来にするために、あなたはどのような取り組みが必要だと思えますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。
13	みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。1つだけ選んでください。
14	千葉市の水環境・水循環と生物多様性の保全・再生への取り組みや計画づくりについて、ご意見があれば教えてください。

2) アンケートの分析結果

収集したアンケートの分析結果を下記に示します。

Q1 あなたの住んでいる所について教えてください。1つだけ選んでください。

- ・居住地は、「緑区」が552人(31.5%)と最も多く、次いで「中央区」が314人(17.9%)、「花見川区」が300人(17.1%)でした。

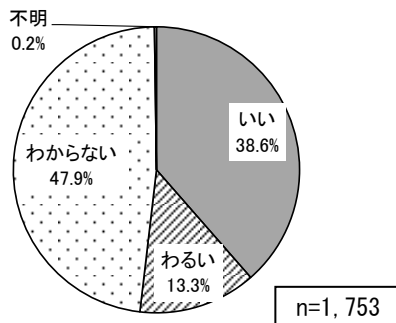


選択肢	回答数
中央区	314
花見川区	300
稲毛区	229
若葉区	111
緑区	552
美浜区	239
市外	3
不明	5
全体	1,753

Q2 あなたのまわりの市内の水環境や水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。

《水環境》

- ・市内の水環境は、「わからない」が840人(47.9%)と最も多く、次いで「いい」が676人(38.6%)、「わるい」が233人(13.3%)でした。



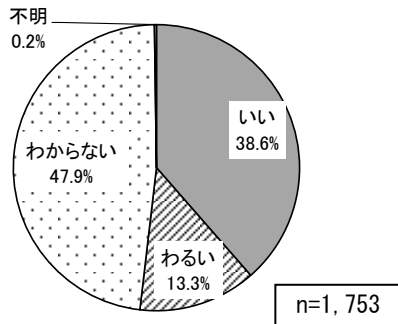
選択肢	回答数
いい	676
わるい	233
わからない	840
不明	4
全体	1,753

- ・「わるい」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「わるい」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	川	67	5	ポイ捨て	10
2	海	46	7	公園	8
3	ゴミ	38	8	魚	5
4	池	15	9	家	4
5	生き物	10	9	水辺	4

《水循環》

- ・市内の水循環は、「わからない」が 1,089 人(47.9%) と最も多く、次いで「いい」が 584 人(38.6%)、「わるい」が 50 人(13.3%)でした。



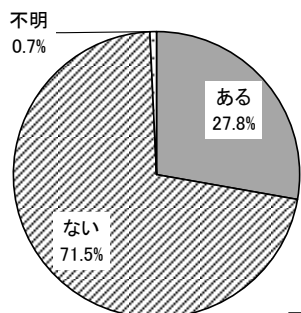
選択肢	回答数
いい	584
わるい	50
わからない	1,089
不明	30
全体	1,753

- ・「わるい」の回答は巻末資料に示します。
- ・「わるい」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	海	7	7	家	2
2	池	5	8	生き物	1
3	川	5	8	駅	1
4	公園	4	8	亀	1
5	ゴミ	3	8	ポイ捨て	1
5	魚	3			

Q3 市内の水環境や水循環に関係している場所であなたが大切にしたい場所はありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、場所の名前などを教えてください。

- ・大切にしたい場所は、「ない」が1,253人(71.5%)と最も多く、次いで「ある」が487人(27.8%)でした。



n=1,753

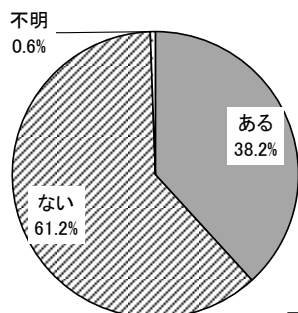
選択肢	回答数
ある	487
ない	1,253
不明	13
全体	1,753

- ・「ある」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「ある」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	海	135	7	学校	5
2	川	123	8	自然	4
3	公園	94	8	山	4
4	池	71	10	環境	2
5	家	14	10	水辺	2
6	谷津田	10			

Q4 水環境や水循環をよくするために、あなたが気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。

- ・気をつけたり取り組んだりしていることは、「ない」が1,073人(61.2%)と最も多く、次いで「ある」が670人(38.2%)でした。



n=1,753

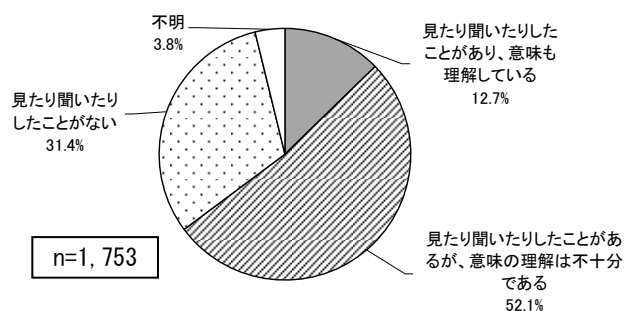
選択肢	回答数
ある	670
ない	1,073
不明	10
全体	1,753

- ・「ある」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「ある」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	ポイ捨て	186	6	洗剤	22
2	ゴミ	132	7	池	13
3	川	55	8	水辺	9
4	海	42	9	家	8
5	節水	28	10	環境	5

Q5 あなたは「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。1つだけ選んでください。

- ・「生物多様性」という言葉を見たり聞いたりしたことがあるかは、「見たり聞いたりしたことがあるが、意味の理解は不十分でした」が913人(52.1%)と最も多く、次いで「見たり聞いたりしたことがない」が550人(31.4%)、「見たり聞いたりしたことがあり、意味も理解している」が223人(12.7%)でした。



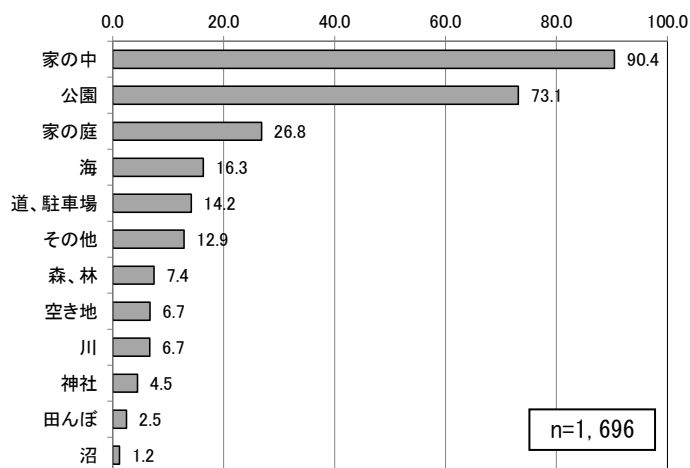
n=1,753

選択肢	回答数
見たり聞いたりしたことがあり、意味も理解している	223
見たり聞いたりしたことがあるが、意味の理解は不十分でした	913
見たり聞いたりしたことがない	550
不明	67
全体	1,753

Q6 あなたがふだん遊んでいる場所、これから遊んでみたい場所を教えてください。あてはまるものについていくつか○をしてください。また、「その他」を選んだ方は、場所の名前を教えてください。

《ふだん遊んでいる場所》

- ・ふだん遊んでいる場所は、「家の中」が1,534人(90.4%)と最も多く、次いで「公園」が1,240人(73.1%)、「家の庭」が455人(26.8%)でした。



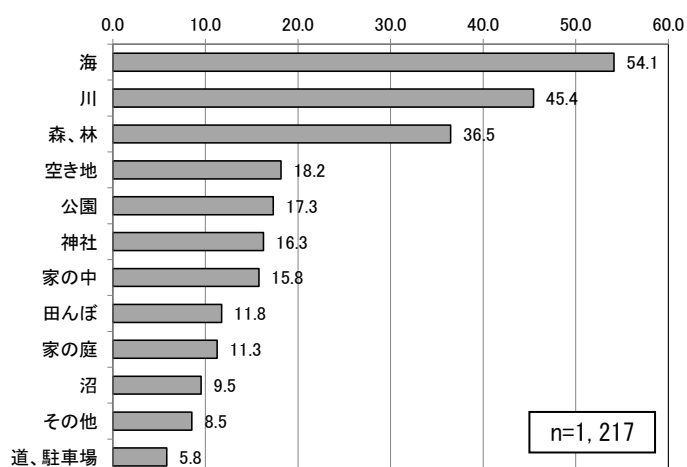
選択肢	回答数
家の中	1,534
公園	1,240
家の庭	455
海	277
道、駐車場	240
その他	218
森、林	126
空き地	114
川	113
神社	76
田んぼ	42
沼	21
不明	0
全体	1,696

- ・「その他」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「その他」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	ショッピングセンター	76	4	駅	7
2	学校	24	5	山	2
3	家	10	6	川	1

《これから遊んでみたい場所》

- ・これから遊んでみたい場所は、「海」が659人(54.1%)と最も多く、次いで「川」が553人(45.4%)、「森、林」が444人(36.5%)でした。



選択肢	回答数
海	659
川	553
森、林	444
空き地	221
公園	211
神社	198
家の中	192
田んぼ	143
家の庭	137
沼	116
その他	104
道、駐車場	71
全体	1,217

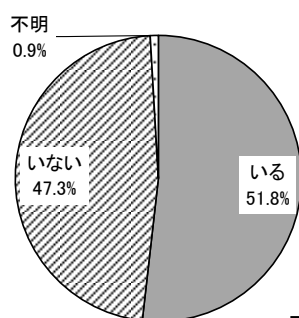
- ・「その他」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「その他」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	学校	8	5	山	3
2	家	6	6	公園	2
3	ショッピングセンター	5	7	谷津田	2
4	海	3	8	動物	1

Q7 あなたがふだんふれあっている生き物や、これからふれあいたい生き物はありますか。それぞれ1つだけ選んでください。「いる」を選んだ方は、生き物の名前を教えてください。

《ふだんふれあっている生き物》

- ・ふだんふれあっている生き物は、「いる」が908人(51.8%)と最も多く、次いで「いない」が829人(47.3%)でした。



n=1,753

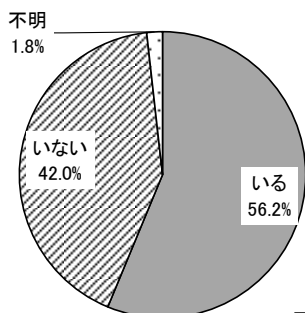
選択肢	回答数
いる	908
いない	829
不明	16
全体	1,753

- ・「いる」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「いる」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	犬	322	7	亀	45
2	猫	249	7	ハムスター	45
3	魚	118	9	鳥	28
4	メダカ	107	10	うさぎ	22
5	金魚	76	10	人間	22
6	植物	53			

《これからふれあいたい生き物》

- ・これからふれあいたい生き物は、「いる」が986人(56.2%)と最も多く、次いで「いない」が736人(42.0%)でした。



n=1,753

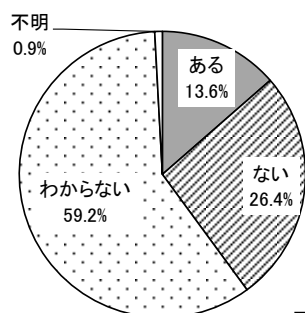
選択肢	回答数
いる	986
いない	736
不明	31
全体	1,753

- ・「いる」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「いる」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	犬	359	6	魚	25
2	猫	322	7	モルモット	21
3	ハムスター	94	8	亀	20
4	うさぎ	62	8	動物	20
5	鳥	45	10	ショッピングセンター	18

Q8 千葉市の生物多様性について、あなたが問題だと考えていること、または身の周りで気になっていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。

- ・生物多様性の問題点は、「わからない」が1,038人(59.2%)と最も多く、次いで「ない」が462人(26.4%)、「ある」が238人(13.6%)でした。



n=1,753

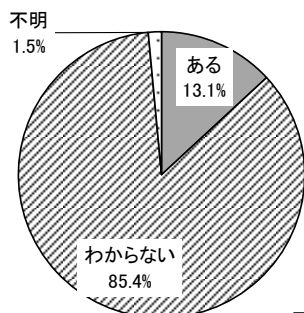
選択肢	回答数
ある	238
ない	462
わからない	1,038
不明	15
全体	1,753

- ・「ある」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「ある」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	猫	21	6	海	12
2	外来種	19	7	環境	11
2	ゴミ	19	7	ポイ捨て	11
4	動物	15	9	魚	9
5	川	13	9	自然	9

Q9 あなたにとって最もかかわりのある「生物多様性」を教えてください。1つだけ選んでください。
「ある」を選んだ方は、どのようなことが教えてください。

- ・最もかかわりのある「生物多様性」は、「わからない」が1,497人(85.4%)と最も多く、次いで「ある」が230人(13.1%)でした。



n=1,753

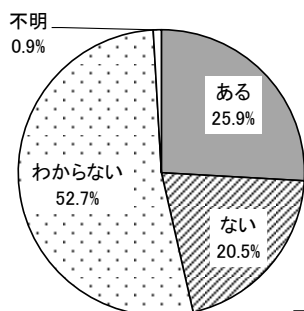
選択肢	回答数
ある	230
わからない	1,497
不明	26
全体	1,753

- ・「ある」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「ある」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	犬	23	6	鳥	6
1	人間	23	8	生き物	5
3	魚	13	9	家	4
3	猫	13	9	うさぎ	4
5	植物	11	9	環境	4
6	動物	6			

Q10 生物多様性について、あなたが思い描く未来への夢を教えてください。1つだけ選んでください。
「ある」を選んだ方は、どのようなことが教えてください。

- ・思い描く未来への夢は、「わからない」が 923 人 (52.7%) と最も多く、次いで「ある」が 454 人 (25.9%)、「ない」が 360 人 (20.5%) でした。



n=1,753

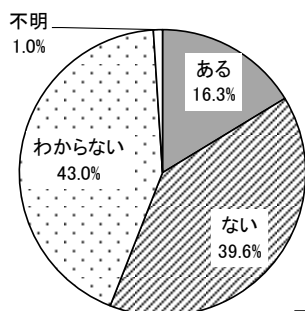
選択肢	回答数
ある	454
ない	360
わからない	923
不明	16
全体	1,753

- ・「ある」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「ある」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	動物	92	6	植物	30
2	生き物	48	7	海	22
3	人間	39	8	川	21
4	環境	37	9	生物多様性	16
5	自然	36	10	殺処分	11

Q11 あなたは生物多様性を守っていくために、何か取り組んでいることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方はどのようなことか教えてください。

- ・生物多様性を守っていくために取り組んでいることは、「わからない」が754人(43.0%)と最も多く、次いで「ない」が695人(39.6%)、「ある」が286人(16.3%)でした。



n=1,753

選択肢	回答数
ある	286
ない	695
わからない	754
不明	18
全体	1,753

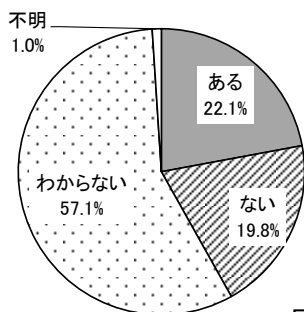
- ・「ある」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「ある」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	ゴミ	52	6	自然	11
2	ポイ捨て	41	7	海	10
3	生き物	19	8	植物	9
4	環境	12	9	動物	7
4	節水	12	10	外来種	6

Q12 生物多様性が豊かな未来にするために、あなたはどのような取組みが必要だと思いますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことが教えてください。

《市にしてほしいこと》

- ・必要な取組みは、「わからない」が1,001人(57.1%)と最も多く、次いで「ある」が387人(22.1%)、「ない」が347人(19.8%)でした。



n=1,753

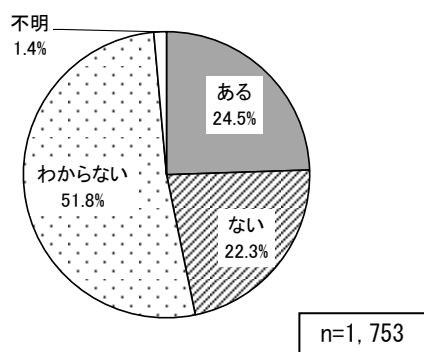
選択肢	回答数
ある	387
ない	347
わからない	1,001
不明	18
全体	1,753

- ・「ある」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「ある」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	ゴミ	32	7	ポイ捨て	17
1	自然	32	8	外来種	15
3	動物	28	9	池	12
4	海	26	10	生き物	10
5	環境	24	10	植物	10
6	川	21			

《自身の取り組み》

- ・必要な取組みは、「わからない」が 908 人(51.8%)と最も多く、次いで「ある」が 429 人 (24.5%)、「ない」が 391 人(22.3%)でした。



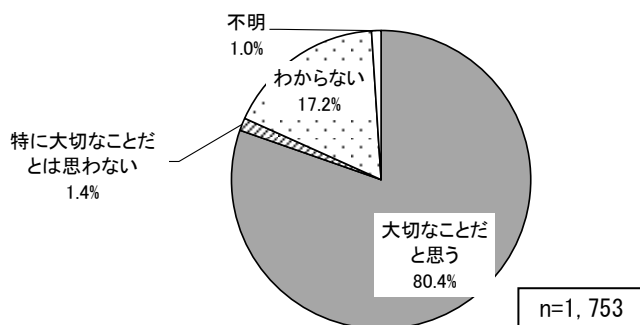
選択肢	回答数
ある	429
ない	391
わからない	908
不明	25
全体	1,753

- ・「ある」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「ある」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	ゴミ	60	6	植物	19
2	ポイ捨て	38	7	動物	18
3	生き物	26	8	海	11
4	環境	24	9	生物多様性	10
5	自然	23	10	節水	8

Q13 みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。1つだけ選んでください。

- ・「生物多様性」を守っていくことについては、「大切なことだと思う」が 1,409 人(80.4%)と最も多く、次いで「わからない」が 302 人(17.2%)、「特に大切なことだとは思わない」が 24 人 (1.4%) でした。



選択肢	回答数
大切なことだと思う	1,409
特に大切なことだとは思わない	24
わからない	302
不明	18
全体	1,753

Q14 千葉市の水環境・水循環と生物多様性の保全・再生への取組みや計画づくりについて、ご意見があれば教えてください。

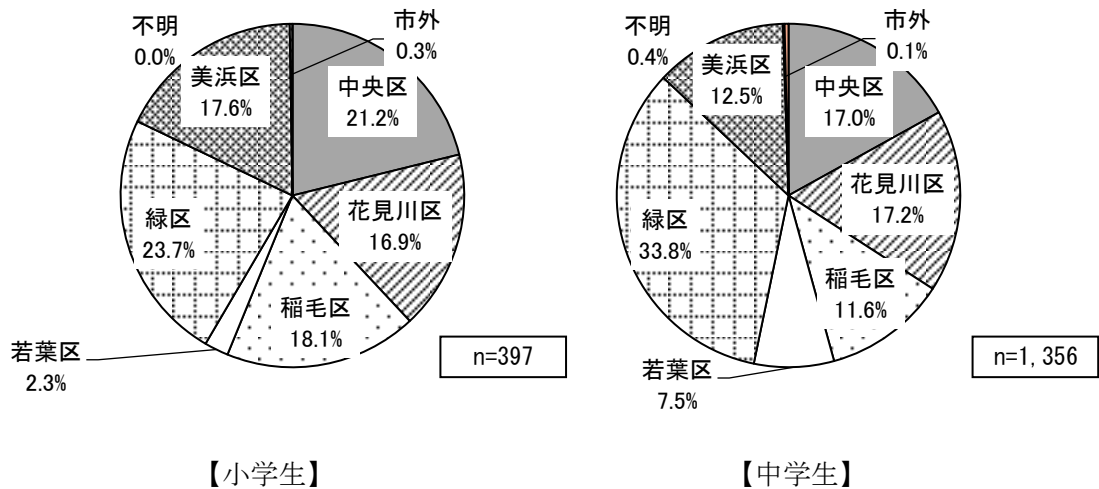
- ・「自由回答」の全回答は巻末資料に示します。
- ・「自由回答」で記載された意見のうち、多く用いられた単語は下記のとおりでした。

No	回答	回答数	No	回答	回答数
1	環境	24	5	ポイ捨て	12
2	川	22	7	ゴミ	11
3	海	17	8	自然	10
4	生き物	13	8	動物	10
5	池	12	10	植物	9

3) アンケートの分析結果（小中学生別）

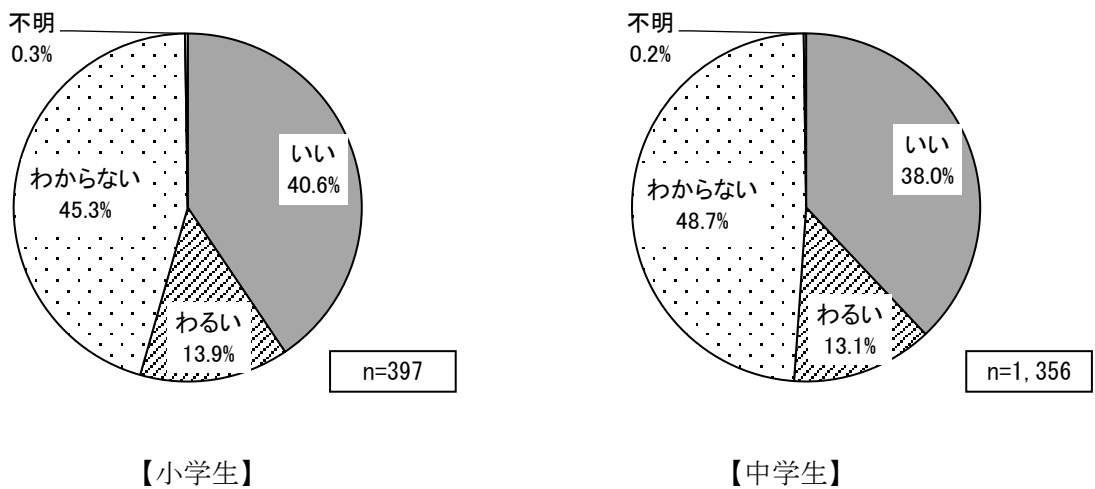
収集したアンケートを小学生と中学生に分けて集計した。

Q1 あなたの住んでいる所について教えてください。1つだけ選んでください。

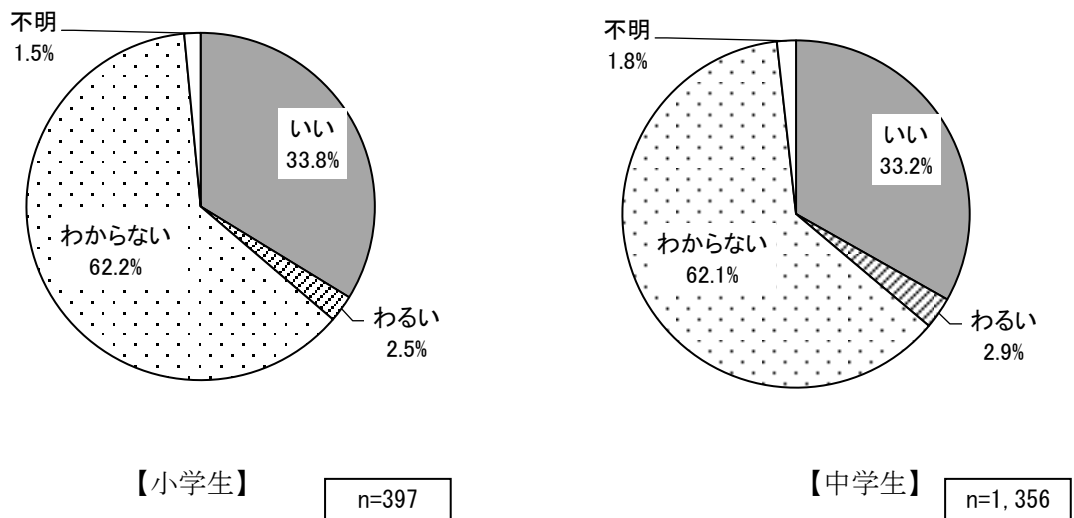


Q2 あなたのまわりの市内の水環境や水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ方は、どのようなことか具体的に教えてください。

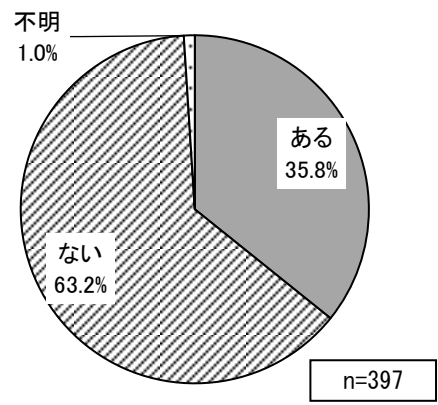
《水環境》



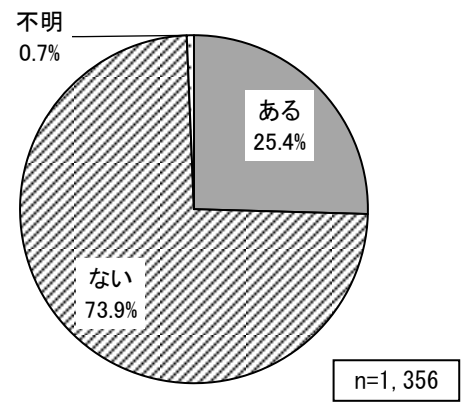
《水循環》



Q3 市内の水環境や水循環に関係している場所であなたが大切にしたい場所はありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、場所の名前などを教えてください。

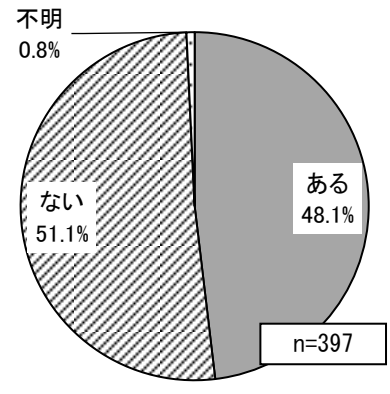


【小学生】

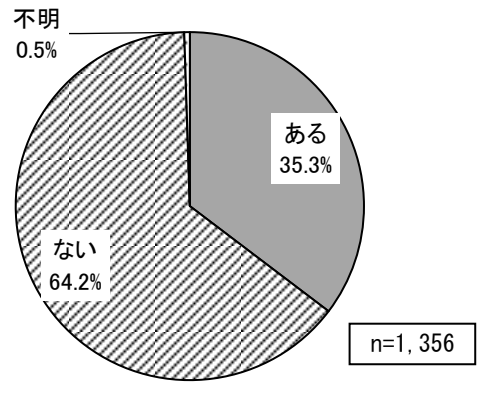


【中学生】

Q4 水環境や水循環をよくするために、あなたが気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。



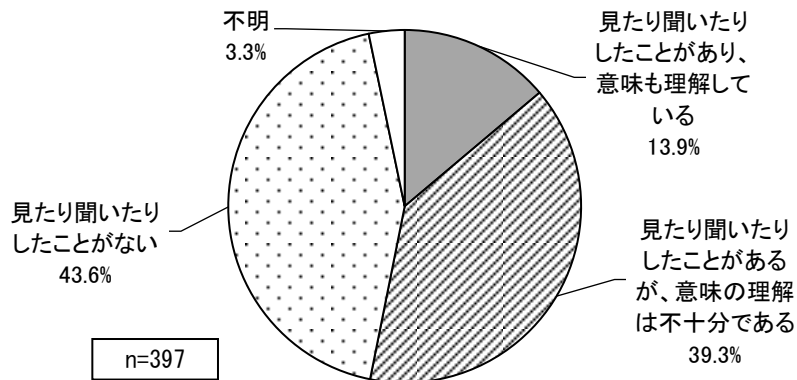
【小学生】



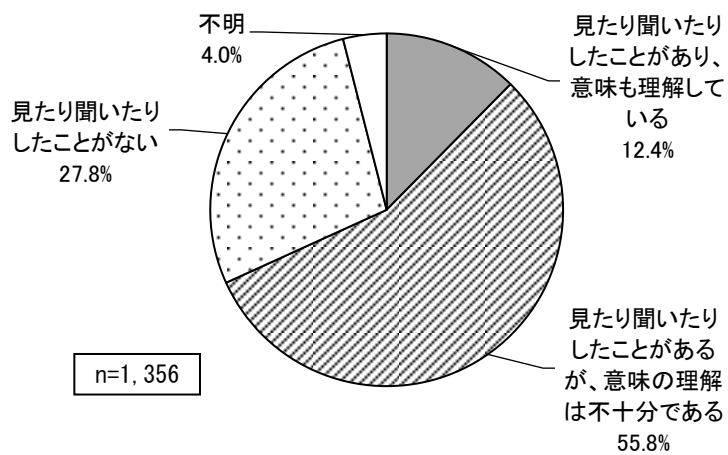
【中学生】

Q5 あなたは「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。1つだけ選んでください。

【小学生】



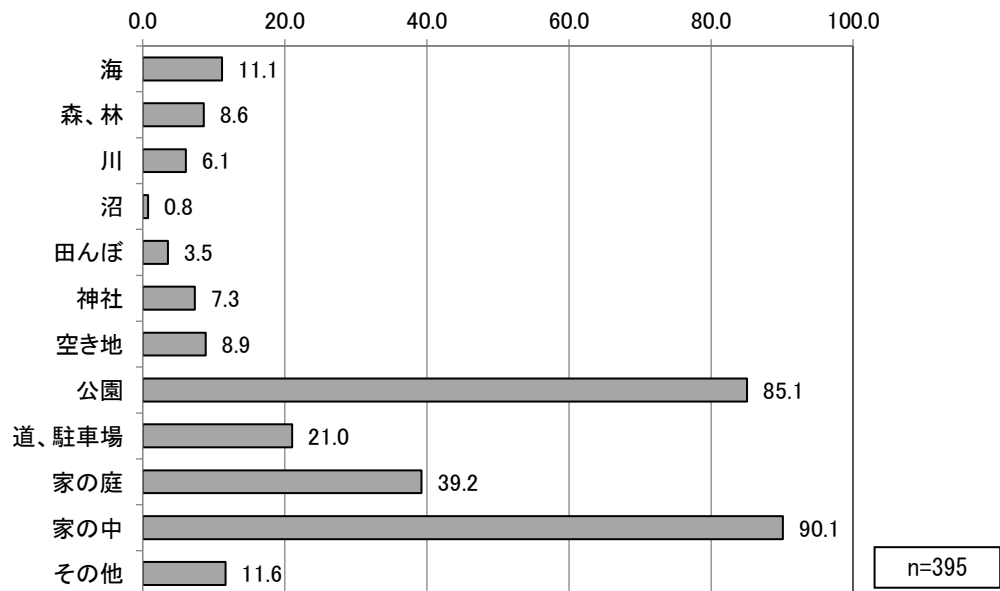
【中学生】



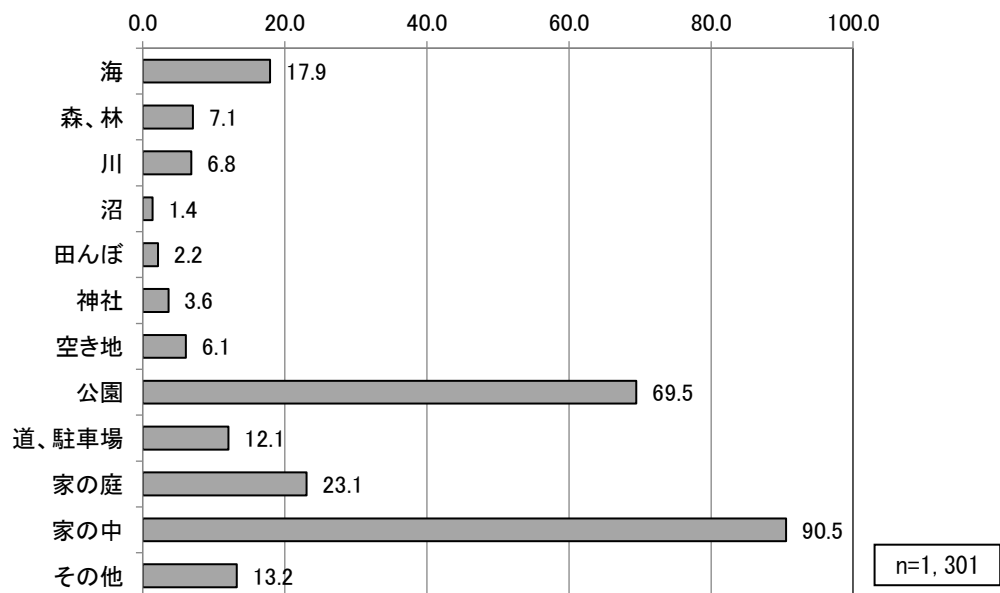
Q6 あなたがふだん遊んでいる場所、これから遊んでみたい場所を教えてください。あてはまるものはいくつでも○をしてください。また、「その他」を選んだ方は、場所の名前を教えてください。

《ふだん遊んでいる場所》

【小学生】

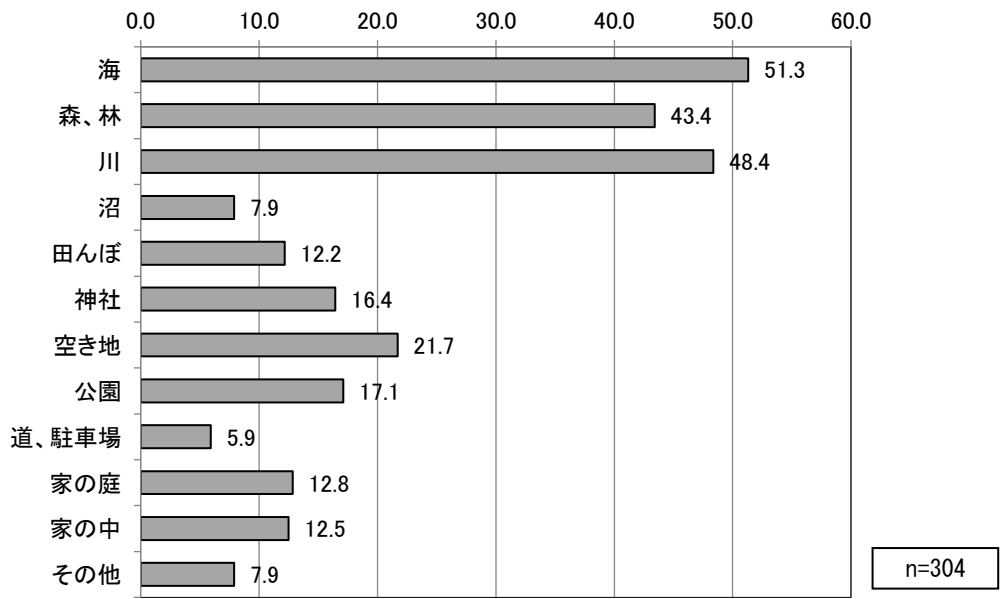


【中学生】

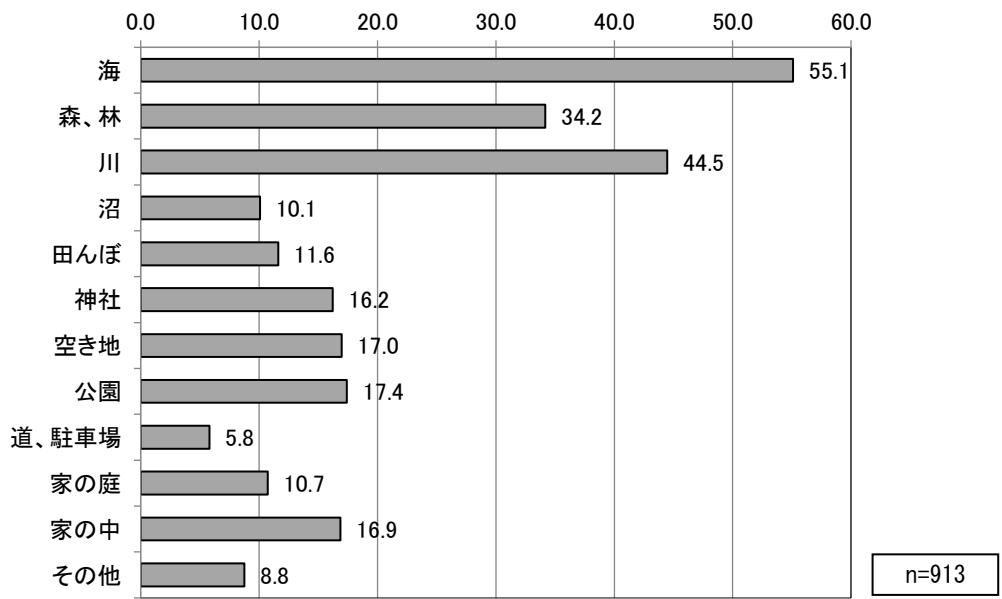


《これから遊んでみたい場所》

【小学生】

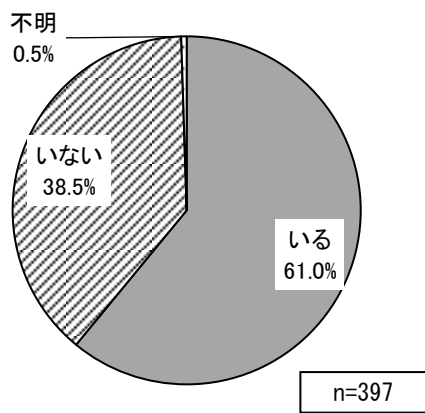


【中学生】

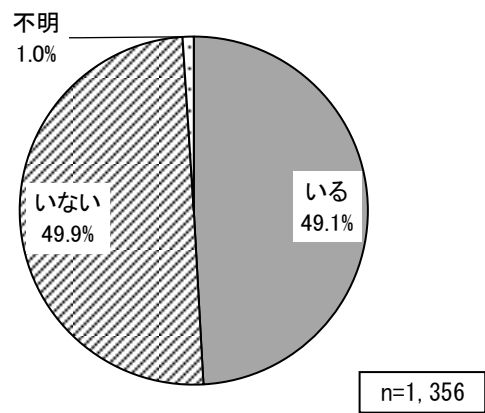


Q7 あなたがふだんふれあっている生き物や、これからふれあいたい生き物はいですか。それぞれ1つだけ選んでください。「いる」を選んだ方は、生き物の名前を教えてください。

《ふだんふれあっている生き物》

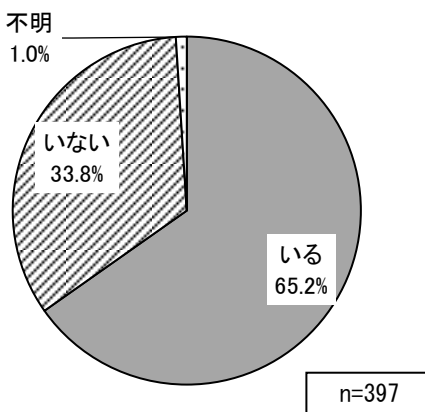


【小学生】

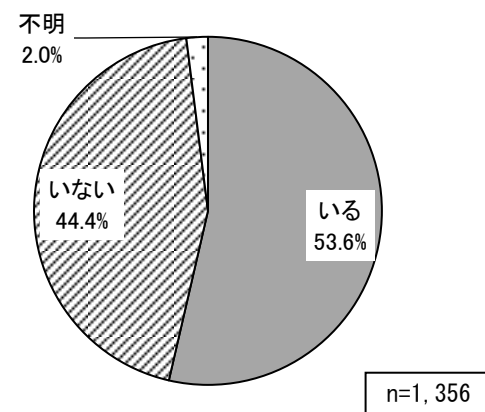


【中学生】

《これからふれあいたい生き物》

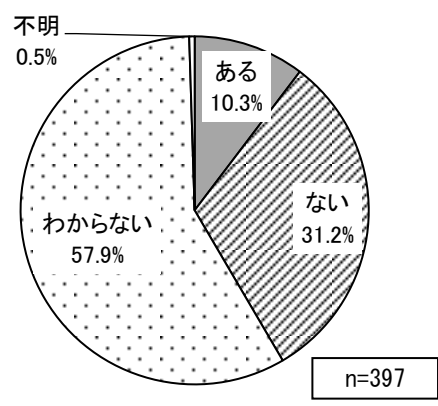


【小学生】

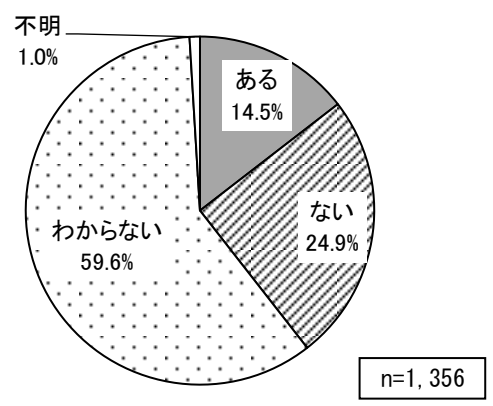


【中学生】

Q8 千葉市の生物多様性について、あなたが問題だと考えていること、または身の周りで気になっていることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。

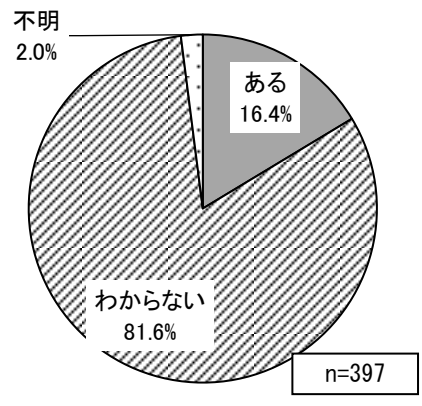


【小学生】

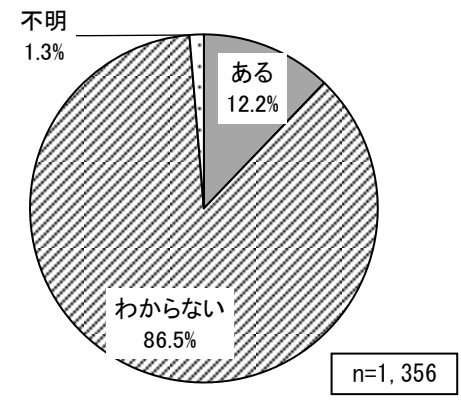


【中学生】

Q9 あなたにとって最もかわりのある「生物多様性」を教えてください。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことか教えてください。

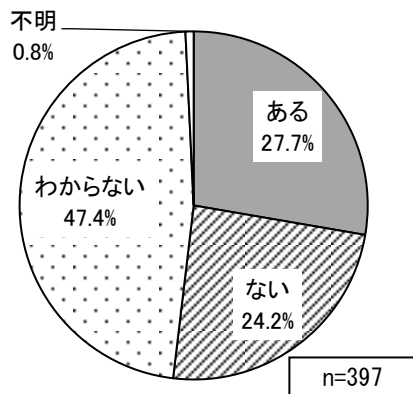


【小学生】

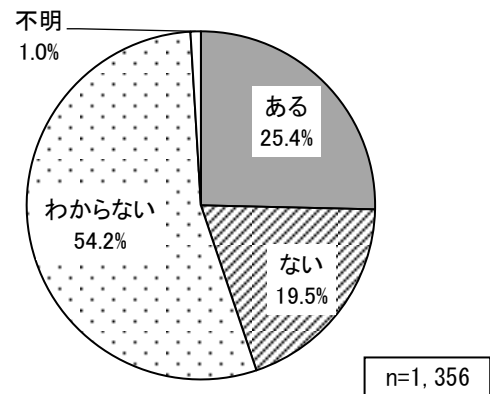


【中学生】

Q10 生物多様性について、あなたが思い描く未来への夢を教えてください。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことが教えてください。

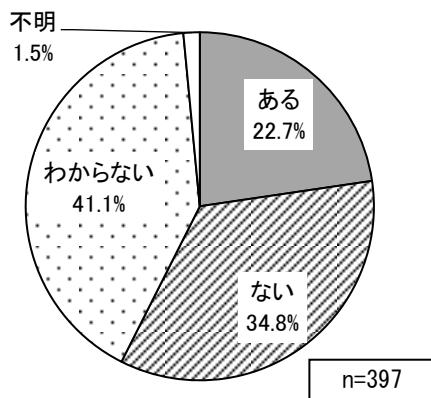


【小学生】

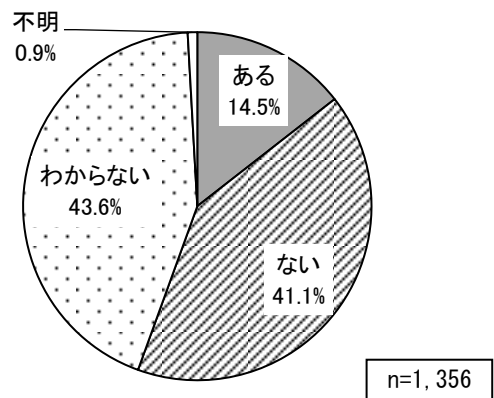


【中学生】

Q11 あなたは生物多様性を守っていくために、何か取り組んでいることはありますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方はどのようなことが教えてください。



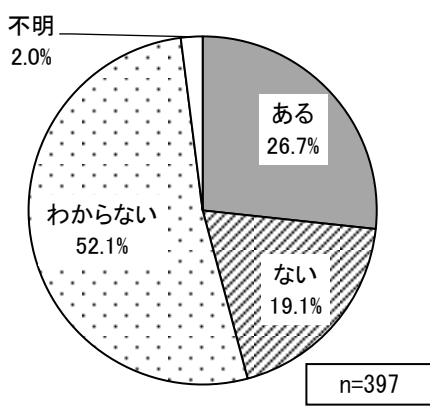
【小学生】



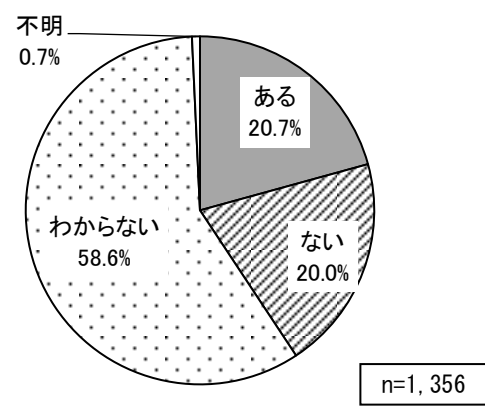
【中学生】

Q12 生物多様性が豊かな未来にするために、あなたはどのような取組みが必要だと思いますか。1つだけ選んでください。「ある」を選んだ方は、どのようなことが教えてください。

《市にしてほしいこと》

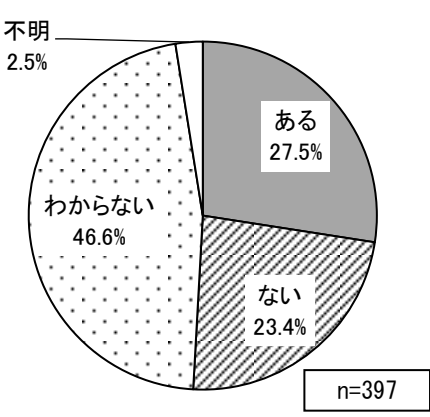


【小学生】

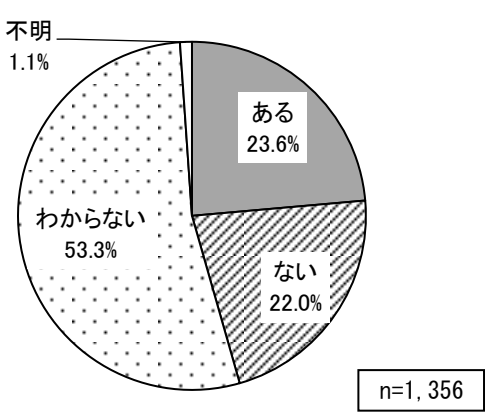


【中学生】

《自身の取組み》



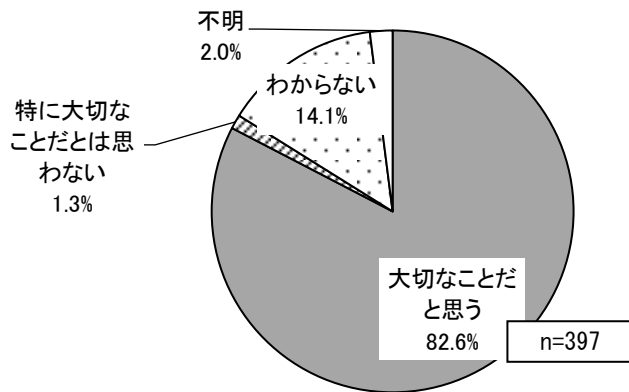
【小学生】



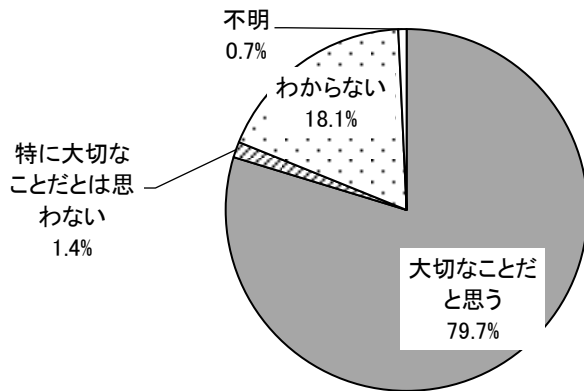
【中学生】

Q13 みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。1つだけ選んでください。

【小学生】



【中学生】



3 事業者向け

1) 実施内容

事業者向けに実施したアンケート調査の内容を下記に示します。

問	設問
1-1	市内の水環境について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ場合は、どのようなことか具体的に教えてください。
1-2	市内の水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ場合は、どのようなことか具体的に教えてください。
2	市内の水環境や水循環に関係している場所で大切にしたい場所はありますか。「ある」を選んだ場合は、場所の名前などを教えてください。
3	水環境や水循環をよくするために、気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
4	「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。
5	千葉市の生物多様性について、課題だと思っていることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
6	貴社にとって最もかかわりのある「生物多様性」はありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
7	生物多様性について、貴社が想い描く未来への夢はありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
8	貴社は生物多様性を守っていくために、何か取り組んでいることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
9	生物多様性を守っていく取組みを進める上で課題だと感じることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
10-1	生物多様性が豊かな未来にするために、どのような取組みが必要だと思いますか。「市にしてほしいこと」について、教えてください。
10-2	生物多様性が豊かな未来にするために、どのような取組みが必要だと思いますか。「貴社が取り組んでいきたいこと」について、教えてください。
11	みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。
12	「生物多様性」を守っていくための取組みは、SDGs（2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）を達成することにもつながりますが、SDGsの17の目標のうち、取り組んでいる、または取り組む予定の目標はありますか。いくつでも選んでください。
13	千葉市の水環境・水循環と生物多様性の保全・再生への取組みや計画づくりについて、ご意見があれば教えてください。

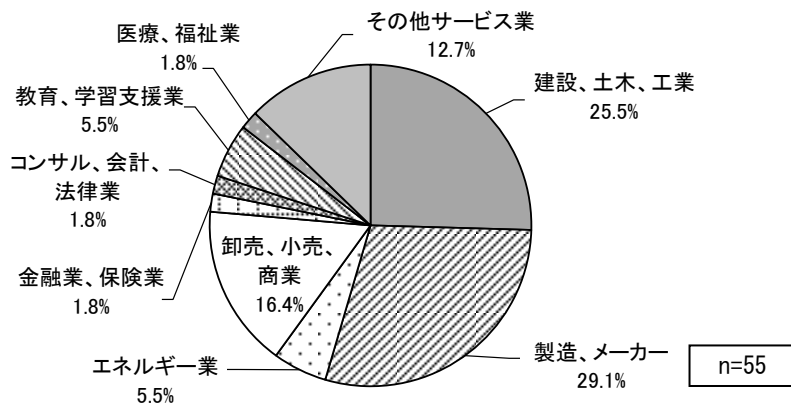
2) アンケートの分析結果

収集したアンケートの分析結果を下記に示します。

【属性情報】

Q0-1 貴社の主な業種を1つだけ選んでください。

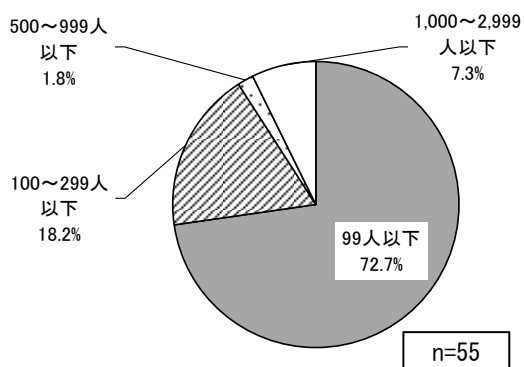
- ・主な業種は、「製造、メーカー」が16社(29.1%)と最も多く、次いで「建設、土木、工業」が14社(25.5%)、「卸売、小売、商業」が9社(16.4%)でした。



選択肢	回答数	選択肢	回答数
農林水産など	0	コンサル、会計、法律業	1
建設、土木、工業	14	報道、出版業	0
製造、メーカー	16	教育、学習支援業	3
エネルギー業	3	医療、福祉業	1
卸売、小売、商業	9	運輸業、運送業	0
金融業、保険業	1	旅行、観光、飲食サービス業	0
不動産、物品貸借業	0	人材サービス業	0
通信、ソフトウェアサービス業	0	その他サービス業	7
全体			55

Q0-2 市内にある事業所等で雇用している従業員の総数について教えてください。

- ・従業員の総数は、「99人以下」が40社(72.7%)と最も多く、次いで「100～299人以下」が10社(18.2%)、「1,000～2,999人以下」が4社(7.3%)でした。

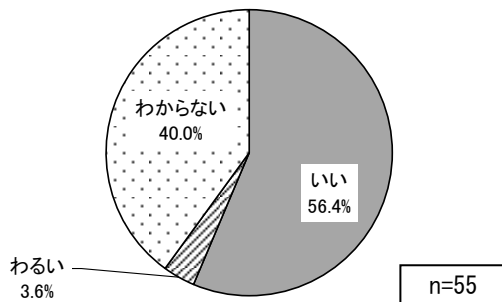


選択肢	回答数
99人以下	40
100～299人以下	10
300～499人以下	0
500～999人以下	1
1,000～2,999人以下	4
3,000～4,999人以下	0
5,000人以上	0
全体	55

【アンケート調査】

Q1-1 市内の水環境について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ場合は、どのようなことか具体的に教えてください。

- ・市内の水環境については、「いい」が31社(56.4%)と最も多く、次いで「わからない」が22社(40.0%)、「わるい」が2社(3.6%)でした。



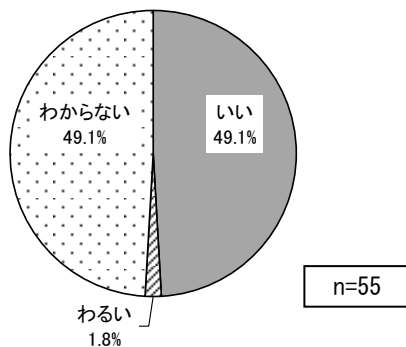
選択肢	回答数
いい	31
わるい	2
わからない	22
全体	55

- ・「わるい」の回答としては下表のとおりでした。

外気温度が上がる3~4月や6~7月に水の電導度が高い為かフィルターが詰まる。
 稲荷町ではここ数年で何度か大雨の際オーバーフローを起こしている。2度床上浸水した。

Q1-2 市内の水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ場合は、どのようなことか具体的に教えてください。

- ・市内の水循環については、「いい」及び「わからない」が27社(49.1%)となっており、次いで「わるい」が1社(1.8%)でした。



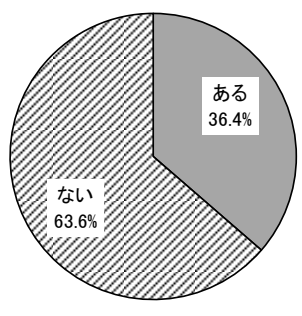
選択肢	回答数
いい	27
わるい	1
わからない	27
全体	42

- ・「わるい」の回答としては下表のとおりでした。

最近豪雨が増えてきているので、今まで以上の洪水対策が必要になると予想されます。

Q2 市内の水環境や水循環に関係している場所で大切にしたい場所はありますか。「ある」を選んだ場合は、場所の名前などを教えてください。

・大切にしたい場所は、「ない」が35社(63.6%)、「ある」が20社(36.4%)でした。



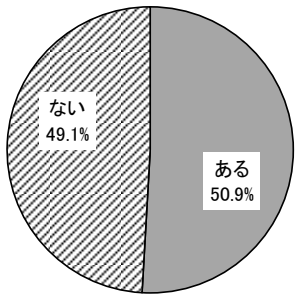
選択肢	回答数
ある	20
ない	35
全体	55

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

印旛沼（水質をよくする事が企業利益に繋がる）
公園
千葉市平和公園
千葉公園・都川
河川
花見川、都川等取水する河川
都川（本町公園周辺）、都川水の里公園、他都川水系全般 千葉公園
都川水の里公園
川の汚染防止
六方調整池
千葉公園 蓮池
千葉市緑区おゆみ野 貯水池 千葉市中央区 生実池
千葉市内にある、各浄化センターなどの施設。東京湾の海。
千葉港
千葉みなとや大草谷津田、坂月川、都川、花見川等の河川環境のように周辺住民が水と触れ合うことができる場所
東京湾および公共下水
小川、田畑、用水路
工場内の排水処理施設
当社が担う業務として浸出水埋立処分場や下水処理場のプラントを納入しており、放流先が河川でしたことが多いため河川を大切にしたいと考えております。
各地区の浄水場 最近浄水場管理を民間（外国資本含め）に委託、売却する動きが出ていますが民間が利益を出すためにやることは料金値上げか？水質悪化となるのは必至です。中でも千葉市民の命に直結するライフラインを民間や他国の企業に任せるなどもっての外。蛇口を捻ればそのまま安心して飲める水が出る環境は世界中でも恵まれた環境です。そのような環境に対し飼養者はその対価を払うのは至極当然のことです。行政が行うことが絶対必要でしたと考えており、その為の増税や水道料金が上がっても止む無しという考えです。

Q3 水環境や水循環をよくするために、気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。
「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。

・気をつけたり取り組んだりしていることは、「ある」が28社(50.9%)、「ない」が27社(49.1%)でした。



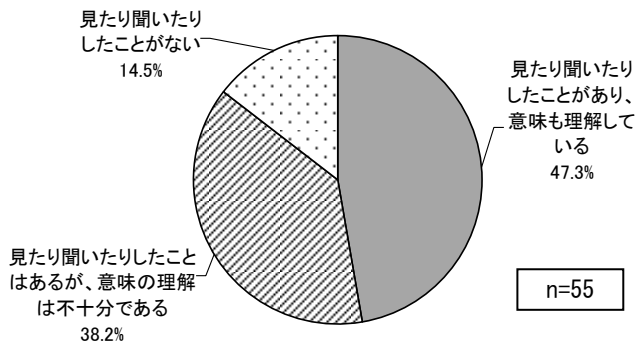
選択肢	回答数
ある	28
ない	27
全体	55

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

場内で使う付着防止剤を植物由来の物に変更した
食器洗いの時、油分は拭き取ってから洗うようにしている。
流しで洗い物をする場合流す前に汚れを拭き取る
洗浄水の節水と排水への負荷低減のため、パンなどの原料として使用するジャムやクリームなどは、供給する機器などの内部に付着した中身が残らないように拭き取りを行っている
洗剤等の使用をなるべく抑える
洗剤など環境にやさしいメーカーの物を使うようにしている。
洗剤をなるべく使わない
綺麗にして川に流す
生活排水、洗車など出来るだけ洗剤等は使用しないようにしていますが、使用する場合は出来る限り水に優しい洗剤を選んでいきます。
環境に比較的良い石鹼を使用していることと、排水はなるべく余計なものを流さないように心がけています。(油や汁物は紙に吸い取ってから洗うなど)
ケミカルを使用しない、若しくは使用した場合公認を受諾している業者に有料で委託し、法律を遵守しております。
工場からの排水管理
工場からの排出が市の排水基準となるように処理してから排水している。
工場から排出される排水基準の順守
工場排水の水質管理
排水基準の遵守
排水処理施設の適正管理と化学物質の漏洩防止
排水における水質チェック
汚水排水について注意している
実験廃液は下水に流さず回収して廃棄している。
・自社の排水処理施設で法律で定められた基準に基づき綺麗な状態にして海へ放流している。
・水質検査 ・浄化槽の定期点検
当社の業態として業務そのものが水環境や水循環をよくするための取り組みでしたと考えております。
不慮の災害でも排水に油その他化学物質が混入しないように土嚢やオイル吸収シートを準備しています。
廃棄物・廃液の適正処理
節水
水の無駄使いを減らし、使用した水は自社排水設備で厳格に処理した後、海域放流・下水放流を行っている。
ゴミのポイ捨てをしない

Q4 「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。

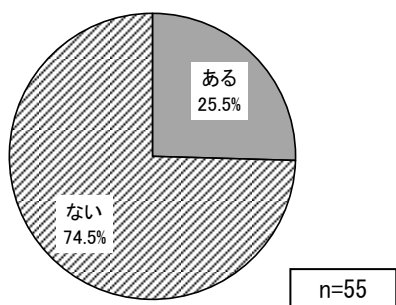
・「生物多様性」という言葉を見たり聞いたりしたことがあるかは、「見たり聞いたりしたことがあり、意味も理解している」が26社(47.3%)と最も多く、次いで「見たり聞いたりしたことはあるが、意味の理解は不十分でした」が21社(38.2%)、「見たり聞いたりしたことがない」が8社(14.5%)でした。



選択肢	回答数
見たり聞いたりしたことがあり、意味も理解している	26
見たり聞いたりしたことはあるが、意味の理解は不十分でした	21
見たり聞いたりしたことがない	8
全体	55

Q5 千葉市の生物多様性について、課題だと思っていることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことを教えてください。

・課題については、「ない」が41社(74.5%)、「ある」が14社(25.5%)でした。



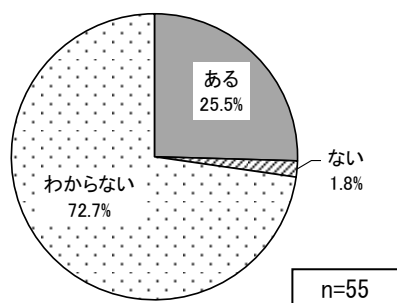
選択肢	回答数
ある	14
ない	41
全体	55

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

河川等の水質維持
川に生息するゲンゴロウなど生き物が住みにくくなること
生態系が少ない
生態系のかく乱が気になります。
ムクドリなどの大量発生、野良猫の放置、無責任なエサやりなど。
数え切れないほどありますが、人類だけでは環境維持は出来ない事をもっとPRすべきと考えています。
自然破壊が環境問題に発展するため、土壌汚染、水質汚染、大気汚染など環境問題に取り組むことが大事
生物が生存するための環境を重視して見ると、一番大切なものは水であり我々の生活排水をクリーンなものにしないといけないと考えています。
生物多様性の重要性を市民が理解すること。
生物多様性という言葉が独り歩きして悪意を持った個人や団体、組織が利権につなげ、過剰に声高に発信する勢力が大手を振って主導権を握る。そのことが世の中の分断に繋がってしまうことを憂慮しています。
海外との玄関口の県でしたがゆえに、外来生物が最初に入ってくる可能性があり、その前線で防御している。
外来種の流入による在来種の絶滅、生態系の異常。千葉市内の河川は、都市化が進むにつれて、防災や管理面を重視した整備が進み、水辺に近づけない構造のところが多い。生物だけでなく、子供たちが全く河川に近づけない場所が多く、自然と触れあう機会を阻んでいる一因になっている
外来生物の増加による生態系や農産物への影響
食物連鎖の保全

Q6 貴社にとって最もかかわりのある「生物多様性」はありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。

・最もかかわりのある「生物多様性」は、「わからない」が36社(72.7%)と最も多く、次いで「ある」が10社(25.5%)、「ない」が9社(1.8%)でした。



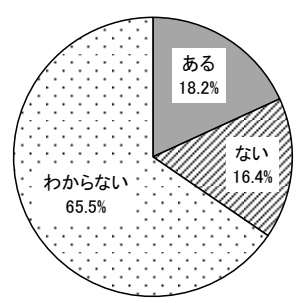
選択肢	回答数
ある	10
ない	9
わからない	36
全体	55

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

食用資源の確保
家畜の健康管理
自然に囲まれている場所で、動物との接触があります。イノシシによる生活被害の恐れもあります。
自然を受け入れ自然を壊さずあるがままの自然と共存する
当社の工場内にもアライグマ等が発生しています。
花見川へ放流している排水基準を順守することで生態系を破壊しない
当社が建設や定期検査に携わる電力プラントの稼働による環境や生態系への影響
当社は、自然の恵みから生まれた農作物のサトウキビやビートの精糖を生業にしているため、農作物の出来具合に関係する生態系に最も関わりがあります。
工場のため、排水基準、大気汚染させないように基準未滿に管理している。
環境DNAの分析による存在種の調査を実施している
LIME分析の結果、当社グループでは「梱包木材」が大きく影響しており、グループ全体で10年以上前から、梱包木材の削減目標を定めて削減活動を設定している。
持続可能な環境配慮型社会の実現
全てにおいて関わりがあります。例えば微生物が一種類消滅しても負の連鎖が始まると思います。
水処理をする上で微生物の力を借りており、生物多様性が損なわれると微生物の生態系が損なわれないかが当社にとってかかわりのあることと認識しております。
魚などの海洋生物

Q7 生物多様性について、貴社が思い描く未来への夢はありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。

・思い描く未来への夢は、「わからない」が36社(65.5%)と最も多く、次いで「ある」が10社(18.2%)、「ない」が9社(16.4%)でした。



n=55

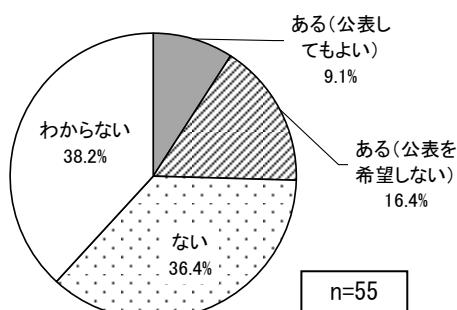
選択肢	回答数
ある	10
ない	9
わからない	36
全体	55

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

動物（生物）との共存
自然環境を保全し、自然と共生できる未来
昔ながらの在来種が存在できる生態系の維持
動物の個体数が適切に制御された状態であって、さらに外来生物の影響も最小限にする。
温暖化を防ぐため太陽光設置の工事を進めている。
利便性を求めるのではなく、多少不便でも環境に優しい生活を推し進めて、動植物などを保護しながら綺麗な地球に人類が共存出来る事が希望です。優しい地球にするのも
生物だけに限らず、量子科学技術により調和ある多様性を創造し、平和で心豊かな人類社会の発展に貢献することを目標としている。
自然の恵みに感謝し生きとし生けるものを尊ぶ精神を養えば自ずと生物多様性に繋がり守られていくと考えます。(精神論ではなくまずは教育の問題ではないか?)
脱炭素社会、循環型社会、安全確保される社会の実現
水の利用を抑制して環境負荷を減らすこと
自然界が従来より変形しているのであれば、修復し経済活動にもSDGsを取り入れ、経営の根幹にしたい。

Q8 貴社は生物多様性を守っていくために、何か取り組んでいることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことが教えてください。

・生物多様性を守っていくために取り組んでいることは、「わからない」が21社(38.2%)と最も多く、次いで「ない」が20社(36.4%)、「ある(好評を希望しない)」が9社(16.4%)でした。



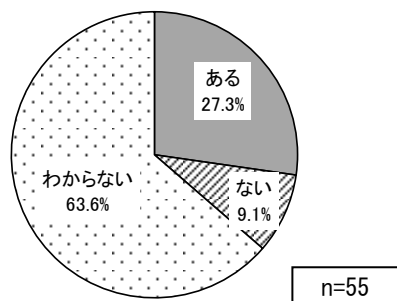
選択肢	回答数
ある(公表してもよい)	5
ある(公表を希望しない)	9
ない	20
わからない	21
全体	55

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

温暖化を防ぐ為ごみを減らしきちんと分別したり、リサイクルを行っている。
廃棄物の適正処理
下水道法、大気汚染防止法など法順守している。
弊社では有機溶剤の使用を抑え、更にケミカルレスの機械を導入している。
当社の業務自体が多様性を守る取り組みでしたと考えております。
生物多様性というより環境問題については環境方針を定め環境経営システムエコステージを取得し会社全体で共有し環境に配慮した業務を行っています。
工場内の緑地保全活動
水の有効利用、削減
環境基本方針等を定め、環境保全に努めるとともに、毎年環境報告書を作成している。
地元猟友会と協力して、イノシシ駆除用の罠を仕掛けています。
省エネ活動や産廃排出量削減活動による環境負荷低減
温室効果ガス削減目標を掲げ実施
1. ガス・電気使用量の削減による温暖化防止への取り組み。
2. 水の使用量削減、自社排水処理による環境汚染防止への取り組み。

Q9 生物多様性を守っていく取組みを進める上で課題だと感じることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことが教えてください。

- ・取組みを進める上での課題は、「わからない」が35社(63.6%)と最も多く、次いで「ある」が15社(27.3%)、「ない」が5社(9.1%)でした。



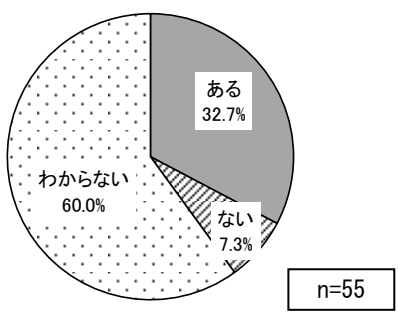
選択肢	回答数
ある	15
ない	5
わからない	35
全体	55

- ・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

ごみを川に捨てたり海に流したりしない。
温室効果ガス排出量0に向けての技術力
温暖化。二酸化炭素削減。対策にコストがかかること。
全てにおいて経済活動が優先される傾向の中で、物やサービスを選ぶ際に安価で済んだことが重要なポイントとなっていることで、環境を守るために必要な対価が支払われず、取組みが進まない場面があるように思う。
取組みの重要性を各人が理解すること（例えば、お客様が取り組んでいる企業製品を高くても購入して応援してくれる等）
無関心が一番良くないことだと思いますので、いかに関心を持ってもらうかが課題ではないでしょうか。
外来種の放流
野生生物の生息生育地の保全し、希少な野生動植物の保護を行い、外来生物の駆除をしていく事
動植物が暮らせる環境作り
生産過程からプラスチック製品のリサイクルを考慮した取組みがない。
設備投資、社員の生物多様性への意識向上
省エネ活動や産廃排出量削減活動だけでは限界がある
市民への広報活動、環境活動の啓発、市民自らの意識改革が課題でしたと感じます。
環境局や猟友会の方のご苦勞が大変でしたこと。

Q10-1 生物多様性が豊かな未来にするために、どのような取組みが必要だと思いますか。「市にしてほしいこと」について、教えてください。

・市にしてほしい取組みは、「わからない」が 33 社 (60.0%) と最も多く、次いで「ある」が 18 社 (32.7%)、「ない」が 4 社 (7.3%) でした。



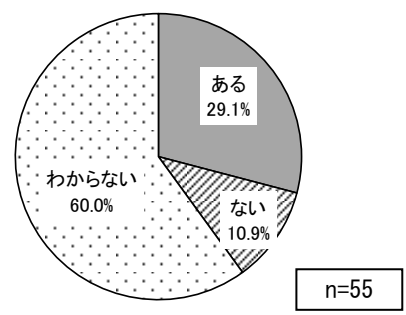
選択肢	回答数
ある	18
ない	4
わからない	33
全体	55

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

地域にリサイクル用の Box を設置 (衣類)
都市化にせず、出来るだけ自然を残す事を推進していただきたい。リサイクルも何でもリサイクルではなくバージンを使用した方が、消費エネルギーが低く抑えられる物も有るのでその辺の見極めもしっかりとしてほしい。
水まわりに植物を植える、増やす? (ビオトープのようにする?)
引き続き水質改善への取組みを継続することが必要と考えます。
海への不法投棄の監視など
自然環境を守ること
人口芝の全面禁止。ナノプラスチックが海洋汚染に繋がっている。
外来生物の駆除
外来生物を引き取る仕組みを作る。
生物多様性の取組み自体が社会を分断することになるのは避けなければなりません。弱者の切り捨てや少数の無理難題でも声高の言い成りになるなどは民主主義国家の敗北です。市としては多くの市民に我慢を強いるようなことにはならない様に不穏な動きに流されず冷静で適正な判断をする取組みとその判断をする仕組みが必要だと思います。
市民への啓発や学校教育の充実
周辺住民が触れ合える水辺環境の維持・拡大、源流域の森林や谷津田を含めた総合的な保全、河川河口域の自然再生 (特に干潟や河岸)
情報の発信
具体的な指針を、まず 1 点に注視し示して欲しい
個々の努力で個々が環境について精通することは難しいので、具体的な循環のフローを示していただき、事業規模や業種に応じた、または個人として取り組めることを具体的に示してほしい。
助成金制度の充実
1. 取り組んでいる企業に対する費用補助の検討。
2. 取組みの重要性を各人が理解するための啓発活動。

Q10-2 生物多様性が豊かな未来にするために、どのような取組みが必要だと思いますか。「貴社が取り組んでいきたいこと」について、教えてください。

・取り組んでいきたい取組みは、「わからない」が33社(60.0%)と最も多く、次いで「ある」が16社(29.1%)、「ない」が6社(10.9%)でした。



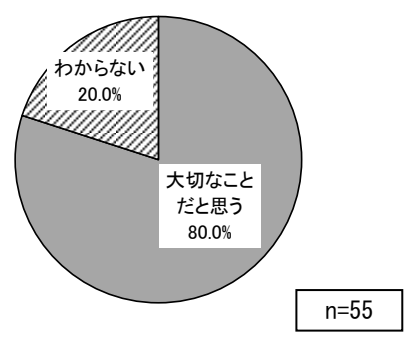
選択肢	回答数
ある	16
ない	6
わからない	33
全体	55

・「取り組んでいきたいこと」を回答した人の回答としては下表のとおりでした。

緑地の保全活動
緑地を維持しつつ、増え過ぎないようにえさとなってしまうものを管理するように努める。
外来種の駆除
社員ひとりひとりへの情報の周知、呼びかけ
電気自動車普及に向けて電気自動車専用コンセント設置を事業計画に入れている。
脱炭素社会、循環型社会、安全確保される社会の実現
紙の分別・資源リサイクルの分別程度です。
廃棄物のリサイクル率の向上
廃棄物の削減
化学物質の環境への排出低減
高効率設備（新技術含む）導入による省エネ推進。
土壌・水質・大気汚染など問題視されている中で、代替エネルギーや環境に配慮した商品を優先的に使用する。
地球温暖化防止対策の推進
水質負荷や改善提案のための製品やサービスをご提供できればと考えております。
・水の利用を抑制して環境負荷を減らすこと ・プラスチックの利用削減

Q11 みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。

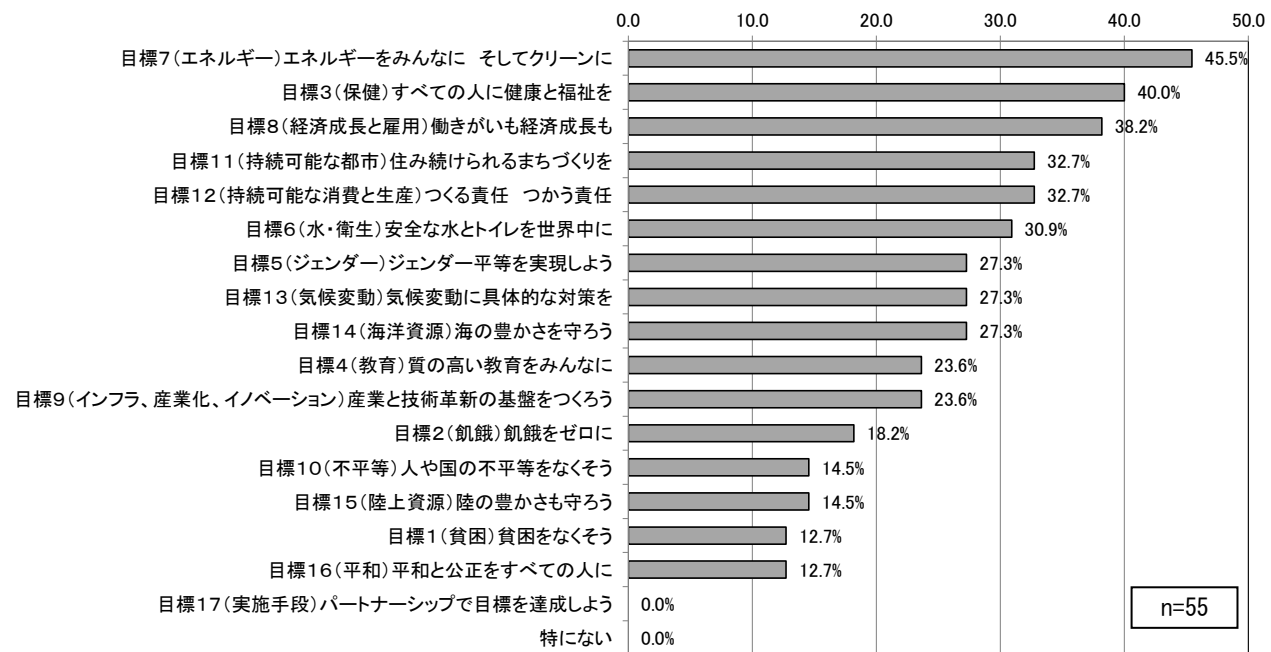
・「生物多様性」を守っていくことについては、「大切なことだと思う」が44社(80.0%)、「わからない」が11社(20.0%)でした。



選択肢	回答数
大切なことだと思う	44
特に大切なことだとは思わない	0
わからない	11
全体	55

Q12 「生物多様性」を守っていくための取組みは、SDGs（2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）を達成することにもつながりますが、SDGsの17の目標のうち、取り組んでいる、または取り組む予定の目標はありますか。いくつか選んでください。

・SDGsの目標は、「目標7（エネルギー） エネルギーをみんなに そしてクリーンに」が25社(45.5%)と最も多く、次いで「目標3（保健） すべての人に健康と福祉を」が22社(40.0%)、「目標8（経済成長と雇用） 働きがいも経済成長も」が21社（38.2%）でした。



選択肢	回答数
目標7（エネルギー） エネルギーをみんなに そしてクリーンに	25
目標3（保健） すべての人に健康と福祉を	22
目標8（経済成長と雇用） 働きがいも経済成長も	21
目標11（持続可能な都市） 住み続けられるまちづくりを	18
目標12（持続可能な消費と生産） つくる責任 つかう責任	18
目標6（水・衛生） 安全な水とトイレを世界中に	17
目標5（ジェンダー） ジェンダー平等を実現しよう	15
目標13（気候変動） 気候変動に具体的な対策を	15
目標14（海洋資源） 海の豊かさを守ろう	15
目標4（教育） 質の高い教育をみんなに	13
目標9（インフラ、産業化、イノベーション） 産業と技術革新の基盤をつくろう	13
目標2（飢餓） 飢餓をゼロに	10
目標10（不平等） 人や国の不平等をなくそう	8
目標15（陸上資源） 陸の豊かさも守ろう	8
目標1（貧困） 貧困をなくそう	7
目標16（平和） 平和と公正をすべての人に	7
目標17（実施手段） パートナーシップで目標を達成しよう	0
特にない	0
全体	55

Q13 千葉市の水環境・水循環と生物多様性の保全・再生への取組みや計画づくりについて、ご意見があれば教えてください。

- ・水やきれいな大気は人類に欠かせない物、美浜区新港にある下水処理場や花見川河口にある下水道終末処理場における海への回帰は東京湾へのいたわり次世代への又未来への環境伝授の橋渡しだと思えます。千葉市内各地に設置してある大気監視所等も日常生活で欠かせない原点チェックの指針だと思えます。環境保全は人類、その上の生物、地球環境に大切な使命だと思えます、益々のご活躍を願います。
- ・市内に残されている樹林や谷津田は民有地のため、荒廃や転売を防ぐことは難しい。生物多様性保全の観点から、重要だと思われる樹林地、谷津田の所有者には税金を軽減したり、維持費用の補助等、積極的な支援制度があってもよいのではないかと。
- ・外来生物を発見した時に迅速な駆除の対応をお願いしたい。
- ・水環境・水循環については雨が降りそして海までたどり着くプロセスにおいて疎外させる要因を多く自然に近い状態に戻し人工的なものではないものが望ましい。SDGsへの考え方も生活の不便が想定されるからの観点から自然そのものの生命の根幹を慈しむ必要がある。
- ・豪雨になっても、洪水にならずにその水を活用できたらいいなと思えます。川や水路に流れ込むのが早いと洪水になりやすいので、地面の保水力を高める工夫や技術開発はいかがでしょうか？
- ・人権尊重を謳いながら人権弾圧国家を見て見ぬふりをする
- ・温暖化になんの根拠もなく寒冷化を唱える研究者を無視し脱炭素に突き進む
- ・日本の経済の根幹のモノづくりを支えようとせずEV化や自然エネルギーにまっしぐら
- ・経済安全保障がおろそかになり自国の根幹が揺らぐ事態となっている現在進行中
- ・自然エネルギーの推進により電力の供給に支障が出、電気料金が上がり企業サプライチェーンの海外シフトが止まらず
- ・多様性を謳いながら主義主張の違う多様性を認めようとせず同調圧力を行使する勢力
- ・環境問題について多くの懸案事項があることは理解していますがSDGsや多様性などの言葉を隠れ蓑にして多くの利権構造や日本弱体化に陥る事態を野放しにすることはその聞こえの良い言葉に騙されることとなります。
- ・環境問題を謳いながらクリーンエネルギーがもたらす自然破壊の実態を見て見ぬふりをする
- ・環境活動家グレタは世界最大の炭素排出国中国には何も言わない不思議 などなど
- ・国連の決めた事は絶対であり、まじめに守り、常に貧乏くじを引く風潮は日本の悪いところです。多くの国民や市民に無理難題さらには増税を押し付け、日々の暮らしに疲れ果て明日の生きる糧や生きる希望も失ってしまっただけは何のための目標なのかと疑問が増えるばかりです。千葉市におかれはただ漫然と流されることなくしっかりとかじ取りを行い、目的を過たず市民の暮らしに障害とならない様に政を行っていただけるように祈るばかりです。
- ・千葉市ではないですが、SDGsの設問に対して一言です。

17項目は夢物語であり全く達成が不可能なことも含めつらつらと並べられています。例えば1.あと8年でできますか？⇒完全に無理です。2.も同上。5.日本ではそういう方々がテレビやラジオでは何十年も前から活躍しており、更には昔から男色などに寛容な国です。7.環境大臣のレジ袋有料化等の間違った施策により国民が大迷惑（レジ袋に限らず平然と廃棄する国、中国やアフリカの河川）に廃棄させない事が第一優先事項のはず。ソーラーパネルが環境に貢献するなどの間違った方向性を疑問とせず、原料調達で中国からジェノサイド材料を使いジェノサイド加担し我が国の狭い国土に無理やりソーラー設置し近年に訪れるパネルの廃棄方法も決まらず、パネルの危険さ

も無視し、森林伐採し自然破壊し土石流などの災害を呼び込むことは危険極まりないことでしたにもかかわらずそれを隠して環境問題を謳うなど愚の骨頂。10. 中国のウイグルジェノサイドや香港弾圧に何も言えず金儲けを優先する我が国。16. 平和と公正をと言いながらジェノサイドは黙殺し北京オリンピックに堂々と参加。

さて、このきれいごとを並べた目標に真剣に取り組むことが果たして将来の為になる事なのかはなはだ疑問です。 ※SDGs について追記です。

4 関係団体向けアンケート

1) 実施内容

団体向けに実施したアンケート調査の内容を下記に示します。

問	設問
1-1	市内の水環境について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ場合は、どのようなことか具体的に教えてください。
1-2	市内の水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ場合は、どのようなことか具体的に教えてください。
2	市内の水環境や水循環に関係している場所で大切にしたい場所はありますか。「ある」を選んだ場合は、場所の名前などを教えてください。
3	水環境や水循環をよくするために、気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
4	「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。
5	千葉市の生物多様性について、課題だと思っていることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
6	貴団体にとって最もかかわりのある「生物多様性」はありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
7	生物多様性について、貴団体が想い描く未来への夢はありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
8	貴団体は生物多様性を守っていくために、何か取り組んでいることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
9	生物多様性を守っていく取組みを進める上で課題だと感じることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。
10-1	生物多様性が豊かな未来にするために、どのような取組みが必要だと思いますか。「市にしてほしいこと」について、教えてください。
10-2	生物多様性が豊かな未来にするために、どのような取組みが必要だと思いますか。「貴団体が取り組んでいきたいこと」について、教えてください。
11	みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。
12	「生物多様性」を守っていくための取組みは、SDGs（2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）を達成することにもつながりますが、SDGsの17の目標のうち、取り組んでいる、または取り組む予定の目標はありますか。いくつでも選んでください。
13	千葉市の水環境・水循環と生物多様性の保全・再生への取組みや計画づくりについて、ご意見があれば教えてください。
14	これまでの質問以外に、個別のヒアリングをご希望される場合は、その内容について、記載してください。

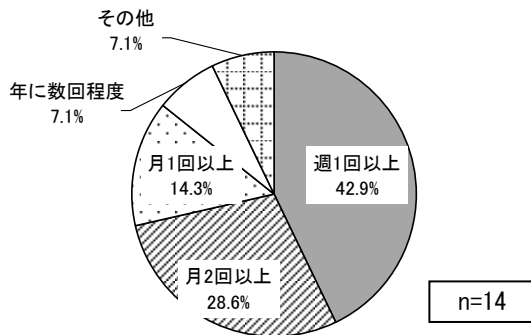
2) アンケートの分析結果

収集したアンケートの分析結果を下記に示します。

【属性情報】

Q0-1 貴団体の活動頻度を1つだけ選んでください。

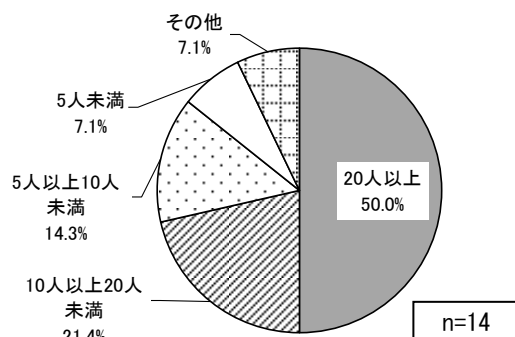
・活動頻度は、「週1回以上」が6団体(42.9%)と最も多く、次いで「月2回以上」が4団体(28.6%)、「月1回以上」が2団体(14.3%)でした。



選択肢	回答数
週1回以上	6
月2回以上	4
月1回以上	2
年に数回程度	1
その他	1
全体	14

Q0-2 貴団体メンバーの人数を教えてください。(メンバーは実際に活動されている方の人数を教えてください)

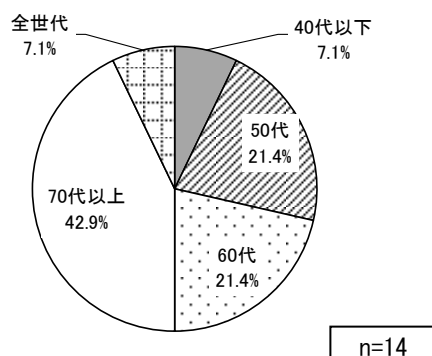
・人数は、「20人以上」が7団体(50.0%)と最も多く、次いで「10人以上20人未満」が3団体(21.4%)、「5人以上10人未満」が2団体(14.3%)でした。



選択肢	回答数
20人以上	7
10人以上20人未満	3
5人以上10人未満	2
5人未満	1
その他	1
全体	14

Q0-3 貴団体メンバーの概ねの年齢層を教えてください。

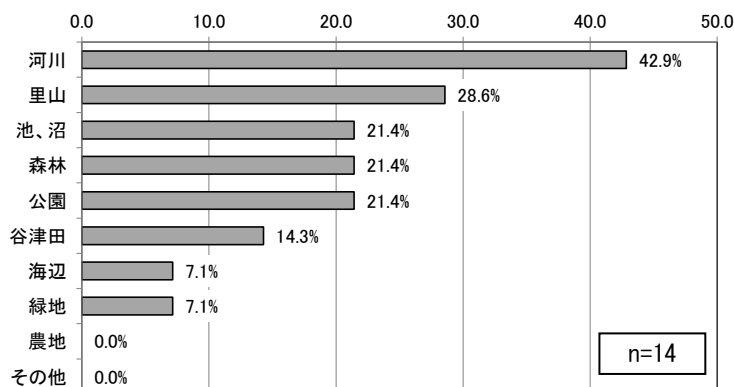
・年齢層は、「70代以上」が6団体(42.9%)と最も多く、次いで「50代」及び「60代」が3団体(21.4%)、「40代以下」及び「全世代」が1団体(7.1%)でした。



選択肢	回答数
40代以下	1
50代	3
60代	3
70代以上	6
全世代	1
全体	14

Q0-4 貴団体の活動場所について教えてください。(いくつかでも)

・活動場所は、「河川」が6団体(42.9%)と最も多く、次いで「里山」が4団体(28.6%)、「池、沼」及び「森林」、「公園」が3団体(21.4%)でした。

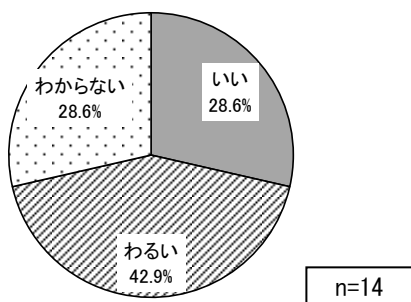


選択肢	回答数
河川	6
里山	4
池、沼	3
森林	3
公園	3
谷津田	2
海辺	1
緑地	1
農地	0
その他	0
全体	14

【アンケート調査】

Q1-1 市内の水環境について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ場合は、どのようなことが具体的に教えてください。

・市内の水環境については、「わるい」が6団体(42.9%)と最も多く、次いで「いい」及び「わからない」が4団体(28.6%)でした。



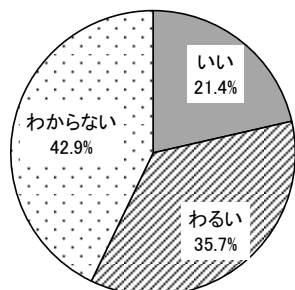
選択肢	回答数
いい	4
わるい	6
わからない	4
全体	14

・「わるい」の回答としては下表のとおりでした。

護岸によって水辺の植生がない場合も多く、外来種の繁茂も各地でしたように思います。
生活環境にある河川について、その水質、外来生物、流域の植物・植栽など、ほとんど保全されていない。
河川の流れの滞り、ごみ溜まり
水環境を大まか水質、水量、水生生物、水辺地そして親水性の観点で評価する。本会の活動区域においては水質、水量、親水性など比較的良好でしたが、水生生物が貧弱であり、豊かで多様な水生生物を育てる環境になっていない。(三面コンクリートの水路や池では多様な生きものを育てられない。) 市域全体として欠如しているのは親水性と水辺地の整備でした。生活圏にある水路や池のほとんどコンクリート張りで立ち入り禁止でした。観光客を集める大規模公園の水環境を整備すること以上に、生活圏にある水環境を整えることを優先すべきでした。

Q1-2 市内の水循環について、どう思いますか。1つだけ選んでください。「わるい」を選んだ場合は、どのようなことか具体的に教えてください。

- 市内の水循環については、「わからない」が6団体(42.9%)と最も多く、次いで「わるい」が5団体(35.7%)、「いい」が3団体(21.4%)でした。



n=14

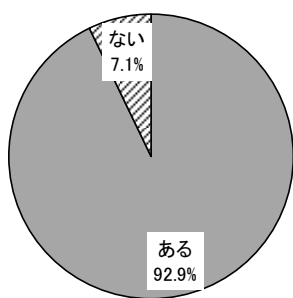
選択肢	回答数
いい	3
わるい	5
わからない	6
全体	14

- 「わるい」の回答としては下表のとおりでした。

特に花見川、浜田川の流れが悪い
市街地の雨水浸透や公園などでのレインガーデンの整備などまだまだ施策が遅れていると思います
都市化の進行により、湧水の場所と水量が減少している(そうです)。また、住宅地に降った雨のほとんどは浸透せず、雨水管に吸収されている。公園緑地においても表層土が流出し裸地化しているところが多く乾燥化が進行し、樹木の生育にも悪影響を及ぼしている。

Q2 市内の水環境や水循環に関係している場所で大切にしたい場所はありますか。「ある」を選んだ場合は、場所の名前などを教えてください。

・大切にしたい場所は、「ある」が13団体(92.9%)、「ない」が1団体(7.1%)でした。



n=14

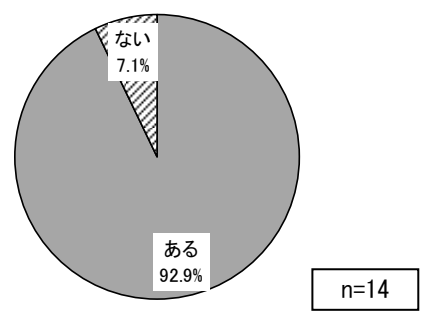
選択肢	回答数
ある	13
ない	1
全体	14

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

二級河川都川
花見川
花見川柏井橋周辺→流木、水草にごみが絡み、塞ぎ止められていた。ここにはカワセミやウグイス、アカハラ、ヤマガラなど野鳥の生息地になっている貴重な場所
花見川。河川ではなく、印旛沼水系のゴミ（汚染水、外来生物）捨て場と化している。
池や川辺周辺
泉谷公園から大百池に至る水路
稲毛の浜から幕張の浜のエリア
谷津田など水辺のある環境（大草谷津田いきものの里など）もさることながら、生産緑地や民有林など保全されていない緑地
金光院の谷津田
下水処理場、各家庭の浄化槽
大切にしたい場所はあると思いますが、具体的な場所はわかりません。湧水は大事にした方がいいと思います。

Q3 水環境や水循環をよくするために、気をつけたり、取り組んだりしていることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。

・気をつけたり取り組んだりしていることは、「ある」が13団体(92.9%)、「ない」が14体(7.1%)でした。



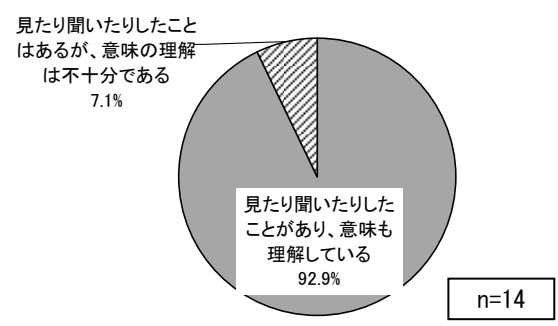
選択肢	回答数
ある	13
ない	1
全体	14

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

「川清掃」「水質検査」「生態調査」「生息生物の保護・保全」「環境教育」「河川敷への植栽及び維持管理」「農耕体験」など
水循環や生物多様性を学ぶ講座等開催
水循環に係るシンポジウムを毎年開催している
浄化槽講習会、水環境体験教室などの講習会開催や講師の派遣
生活排水をできるだけ汚染しないように、安全な洗剤を使ったり、お皿を拭いてから洗うようにしている。
無駄な水使いをしない。
園生の森公園のビオトープではオニヤンマ等のために堰を作り適切に水が貯まるようにしている
ホタルが生息しているので、未来に生息維持するため、SDGs
ごみ拾いとごみ減らし、プラスチック製品を使わない、合成洗剤を使わない
花見川流域の、ごみ回収、水質調査、植栽管理
水路・園路の清掃・堆積ヘドロの除去、特定外来生物等の駆除、水質検査、落ち葉プールの設置

Q4 「生物多様性」という言葉を見たり、聞いたりしたことがありますか。

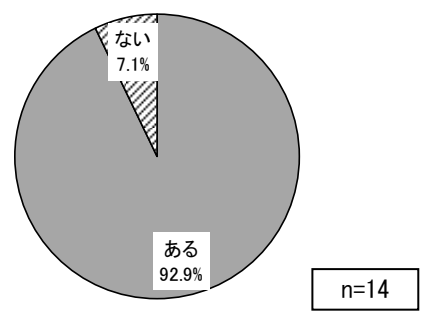
・「生物多様性」という言葉を見たり聞いたりしたことがあるかは、「見たり聞いたりしたことがあり、意味も理解している」が13団体(92.9%)、「見たり聞いたりしたことはあるが、意味の理解は不十分でした」が1団体(7.1%)でした。



選択肢	回答数
見たり聞いたりしたことがあり、意味も理解している	13
見たり聞いたりしたことはあるが、意味の理解は不十分でした	1
見たり聞いたりしたことがない	0
全体	14

Q5 千葉市の生物多様性について、課題だと思っていることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことを教えてください。

・課題については、「ある」が13団体(92.9%)、「ない」が1団体(7.1%)でした。



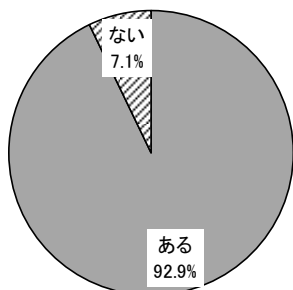
選択肢	回答数
ある	13
ない	1
全体	14

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

地球温暖化の影響により、生態系が大きく変化している。例えば、生息生物では、数年前まで多数確認できていた「マブナ」「マルブナ」「メダカ」「モツゴ」「モロコ」「ヌマチチブ」「テナガエビ」「スジエビ」「モクズガニ」等が激減している。植生では「アレチウリ」「クワモドキ」などが繁茂している。
千葉市の6区の土地利用は夫々異なるが、各地域に住んでいる人が、生物多様性の必要性を思っているかが課題。谷津田・水田・畑など不耕作や荒廃している里山の保全活用が課題。
より多くの人々が自然環境に触れて生物多様性を保全する機会が少ないこと
外来種に対する啓発の不足。園芸植物の自然植生への導入が各地で見られる。緑地活動団体への周知・啓発の不足など
外来生物の扱い：法的には規制されない外来植物で生態系に影響ある外来植物についてアナウンスしています。
対象が生活圏から離れた特殊地域・特定種に限られ、外来生物の駆除にも消極的。過っての『学校ビオトープ』を彷彿とさせる。もっと市民の生活に寄り添った計画・施業でないと市民は関心を持ってない。
観察出来る野鳥が年々激減、特に去年から。原因究明が必要。電磁波の影響も含めて。
専門知識を有した人材の確保と連携
谷津田の環境保全を実施されているが、主体は田んぼの再生と維持が主体で、生物の保護対策が少ない
景観生態学者 Hartmut Leser によると、エコシステム（生態系）はバイオシステム（BIO）とジオシステム（GEO）が融合した概念と定義されています。しかし日本の生物多様性の概念には、生態系の中のバイオシステムしか考慮されていません。例えば湧水に形成された生態系は、湧水が枯渇すれば失われてしまいます。海水準変動や地形の変化などの「ジオシステム」における時間の概念も含め、新しい計画には「ジオシステム」への配慮が行われることが必要でしたと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・無秩序であれ有秩序であれ開発行為を大胆に抑制する。 ・3面コンクリート状態の河川を自然流路型かつ親水型河川に改修する。 ・生物多様性が豊かなエリアをつなぐ緑の回廊を設置する。 ・荒廃した林地、谷津田は無理に再生させることなく自然の遷移に委ねる。ただし、竹林の様に放置すれば暴走する案件は、適切に矯正する。（自然から借りたものは自然に帰す。） ・資源浪費型企業への規制を強化する。（課税強化、諸優遇措置の撤廃・・・）

Q6 貴団体にとって最もかわりのある「生物多様性」はありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。

・最もかわりのある「生物多様性」は、「ある」が13社(92.9%)、「わからない」が1社(7.1%)でした。



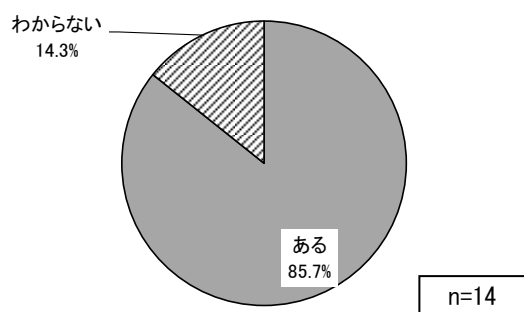
選択肢	回答数
ある	13
わからない	1
全体	14

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

都川の生息動植物
花見川のナガエツルノゲイトウ等外来植物の繁茂は、在来種などへの影響を危惧している。
花見川の水質の改善、外来生物の駆除、緑地の再生による、生物多様性（在来種）の向上
丸山川の水生生物による水質調査活動および「エコメッセ 2022in ちば」等のイベントにおける「緑のカーテン」の種子配布を継続。
田んぼとそこに住む生き物
当会は園生の森公園にて、植物を中心に全生物相の多様性の保全向上をミッションとしています
外来植物の扱い
海辺におけるより良い環境づくり。ビーチクリーンと生き物調べ
現在環境保全作業を実施しているのは、ニホンアカガエルの産卵、ホタル（ヘイケホタル）、メダカ等生息維持すること
地質環境学の見地から生物多様性も含め、環境保全の大切さを説き、啓発活動を行っている。
住宅地のど真ん中でしたにも関わらず、活動区域内に息づいている多くの動植物とそれを支えている変化に富んだ多様な環境。

Q7 生物多様性について、貴団体が思い描く未来への夢はありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことか教えてください。

・思い描く未来への夢は、「ある」が12団体(85.7%)、「わからない」が2団体(14.3%)でした。



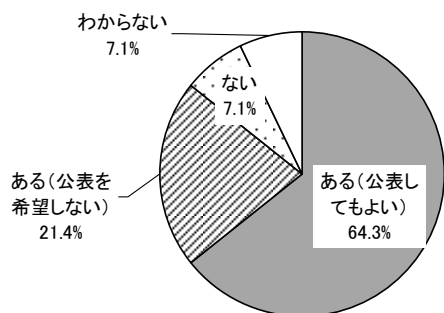
選択肢	回答数
ある	12
ない	0
わからない	2
全体	14

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

昭和30年代の都川（亀井町から上流当り）は、川岸に木杭が打たれゆるやかな土堤でした。川岸にはウナギの稚魚（メソッコ）が群れを成し、普通にフナやメダカなどが泳いでいた。勿論水は澄んでいて、多分水源橋上流当りでは、子供たちが素っ裸で水遊びをしていた。少しでも、あの原風景に近づく水辺づくりを作り上げたい。
人と自然が共生していくことで、多様な生物と共存する社会。
すべての人が生物多様性を理解し、普段の暮らしから生物多様性を意識して環境に配慮した暮らしをすること
現状、多様性保全の取り組みが断片的。残存緑地の質的向上とともに緑地間の繋がりを作り、市街地へ拡大することが望ましい
住環境周辺での緑豊で生物多様性が保たれた人間にとって住みやすい環境づくり
海と川、森を繋ぎ、市民がその成り立ち貴重さに気付き、持続的関わりが出来ること。漁業復活させカレイなど地場魚を学校給食に提供。身近に貴重な資源があることに気付いてもらう
花見川の水質の改善、外来生物の駆除、緑地の再生による、生物多様性（在来種）の向上を実現し、水・自然と親しめる住みやすい街づくり。
環境保全活動に取り組んでいる団体との連携・協働により、事業活動の水平展開をおこなっていききたい。
休耕地になる前に生息していた、トウキョウダルマガエルを再度呼び戻したい
ジオシステムの観点も取り入れた、総合的な生物多様性のあり方について検討していただきたい。

Q8 貴団体は生物多様性を守っていくために、何か取り組んでいることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことが教えてください。

- ・生物多様性を守っていくために取り組んでいることは、「ある（公表してもよい）」が9団体(64.3%)と最も多く、次いで「ある（公表を希望しない）」が3団体(21.4%)、「ない」及び「わからない」が1団体（7.1%）でした。



n=14

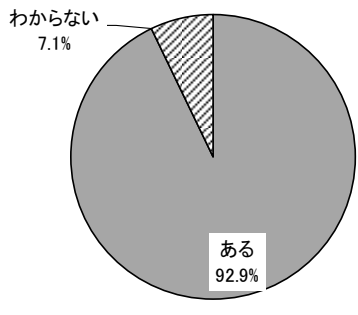
選択肢	回答数
ある（公表してもよい）	9
ある（公表を希望しない）	3
ない	1
わからない	1
全体	14

- ・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

花見川のナガエツルノゲイトウ調査（近年は新型コロナ禍で活動できていない）
毎年田んぼの生き物調査をして環境保全について意識を高められるようにする。有機栽培のお米、野菜を会員が食べられるようにしている。
ササ刈りによる林床の在来種の保全。近隣の開発で失われる在来種の移植保護。エコスタックの設置。その他多数。
外来植物についての啓蒙活動（アメリカオニアザミ、ナガミヒナゲシ、トウネズミモチ etc.） 地域内の駆除活動
・毎月検見川浜、幕張の浜で海岸清掃を実施。回収不能といわれており、生き物の誤食が懸念されるマイクロプラスチック除去にも取り組んでいます。 ・ごみ調べにより意識向上を目指しています
NPO 法人南房総エコネットと協働で取り組んでいる「丸山川の水生生物による水質調査」や 大多喜町と協働で取り組んでいる「わくわく探検隊~自然となかよし~」の継続。「エコメッセ 2021in ちば」等のイベントにおける「緑のカーテン」の種子配布を継続する。
カエルの産卵場所の確保、ホタルのための保全作業
生物多様性を守るためには、健全な地質環境や水循環を保全することにつながると考えています。当NPOでは、地質汚染箇所を地下水流動を含め、地層の変わり目ごとに調べ、数多くの地質汚染現場で完全浄化の成果を上げてきました。（私たちの行っている地質汚染の調査方法は単元調査法と言います。）この単元調査法の普及、指導を研修会を通して行っております。
○活動区域内の生物多様性を守る取り組み ・活動区域内の希少種の保護および増殖 ・希少種の生育環境の保全 ・外来生物の駆除 ・観察会や広報紙等による啓発・普及活動 ○地球規模の生物多様性を守るための取り組み（ささやかだができることから・・・） ・金属製品等に代替可能なプラスチック類（例えばペットボトル）の使用を取りやめる。 ・活動に必要な動力源を石油から電気に切り替える。 ・活動の中で出た植物系のゴミ等は搬出せず、域内で土に還す。

Q9 生物多様性を守っていく取組みを進める上で課題だと感じることはありますか。「ある」を選んだ場合は、どのようなことが教えてください。

・取組みを進める上での課題は、「ある」が13団体(92.9%)、「わからない」が1団体(7.1%)でした。



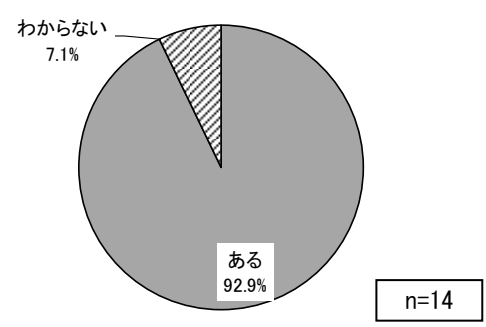
選択肢	回答数
ある	13
ない	0
わからない	1
全体	14

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

次代を担う子供たちへの環境教育の場の拡充。
地権者、地域住民、NPO、行政などと、生物多様性の重要性を理解し、協力する姿勢。
一般の人の認識がまだ低い。普段の暮らしとのつながりを理解してもらえていない。
残念ながら、千葉市の公園関係の部局ではまだまだ生物多様性への理解が足りない。公園でもできることは多々ある
外来生物の対応や規制については、もっと情報発信すべきと思う。
ごみ減量、農薬や合成洗剤等の使用削減 森林、耕作放棄地整備
縦割り行政の弊害で、里地、公園・緑地など、市の既存1部門の管理範囲内限定の活動だけが協業・支援対象の制度しかなく、流域全体の環境再生・改善・保全を目指す当会活動範囲をカバーする協業・支援制度がない
新型コロナウイルス感染症拡大にともない活動制限があること。
現在保全作業のボランティア活動に参加されている年齢が高齢者でいつまでできるかが問題でした
生物多様性を守るためには、健全な地質環境や水循環を保全することにつながると考えております。現在の生物多様性の概念は、生態系の中のバイオシステムしか考慮されていないと感じます。ジオシステムを含めた幅広い観点から生物多様性を守っていくことも課題の1つかと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・「生物多様性」問題とそれぞれができる行動様式についての認知度を高めること。 ・行動する人々を増やすこと。 ・建前や理想を口にするが、その実何もしない、あるいはしたふりをするグリーンウォッシュ企業、SDGs ウォッシュ企業の存続を許さない。

Q10-1 生物多様性が豊かな未来にするために、どのような取組みが必要だと思いますか。「市にしてほしいこと」について、教えてください。

・市にしてほしい取組みは、「ある」が13団体(92.9%)、「わからない」が1団体(7.1%)でした。



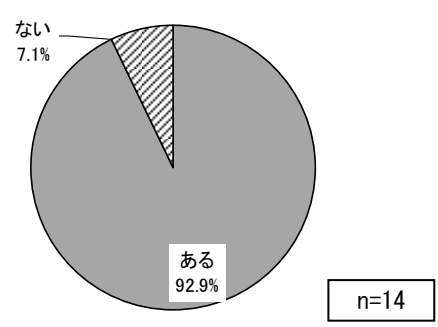
選択肢	回答数
ある	13
ない	0
わからない	1
全体	14

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

市は、自然との共生に向け様々な施策を展開されていますが、行政だけではできないことはNPO 法人等の活動を支援していただきたい。
生物多様性の保全が千葉市民に必用（重要）と思える場所を保全する仕組みを設置してもらいたい。
環境教育の普及。一般の人の暮らし方を変えるようなアドバイスやSDG sの普及啓発
千葉市域が置かれている現状の正確な理解。職員全体への周知徹底。それらを前提とした市民へ啓発。何より予算と人員の増強
住宅地でも緑豊かな環境づくり
特に実感するのは花見川区畑地区耕作放棄地に水質浄化に最適のマコモ米を育成させ、水環境向上を目指してほしい。30年前から農薬の為かメダカ一匹いない場所だったので。
生活環境での生物多様性の向上による多くの人々が豊かさを享受できる計画と施業。県の『河川・海岸アダプトプログラムのように地域を特定しない環境保全活動への支援制度の確立。
生物多様性に関する基礎知識・専門知識を取得するための勉強会・講習会
保全作業用道具の保管庫を提供してほしい
健全な地質環境や水循環の保全
<ul style="list-style-type: none"> 千葉市における現状把握と継続的調査によるデータ蓄積と公開 生物多様性にかかわる科学的知見の蓄積・情報提供 全部局が生物多様性をまもるために果たすべき自らの役割と目標を明確にすること 自主的に活動している諸団体への支援

Q10-2 生物多様性が豊かな未来にするために、どのような取組みが必要だと思いますか。「貴団体が取り組んでいきたいこと」について、教えてください。

・取り組んでいきたい取組みは、「ある」が13団体(92.9%)、「ない」が1団体(7.1%)でした。



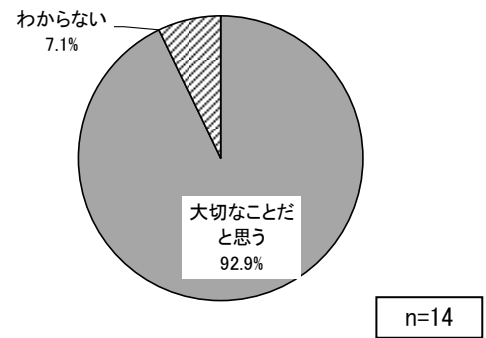
選択肢	回答数
ある	13
ない	1
わからない	0
全体	14

・「ある」の回答としては下表のとおりでした。

現在取り組んでいる「7つの事業」の継続。
生物調査、環境学習（体験含む）実施。
田んぼの素晴らしさと役割をより多くの人に伝える。
短期には侵略的な外来植物の除去による植生の回復。長期は鳥類・昆虫類の多様性向上を実現する管理手法の確立。ノウハウの拡散
地域主体で地域の環境を守っていく取組みが必要。その為には有識者のお力を借りての情報発信。
海岸清掃とアマモ場の創出(環境的に可能であれば)
花見川の水質の改善、外来生物の駆除、緑地の再生による、生物多様性（在来種）の向上を実現し、水・自然と親しめる住み易い街づくり。
小学生や一般市民に、やさしい体験学習の場を提供すること。弊会では自治体や公民館主催などの各種講習会へ講師を派遣したり、講演会等を企画している。
貴重な生き物特に植物ですが、除草作業で簡単に失ってしまうので、見つけたら維持増殖を考え作業をする
先の設問の回答と重複しますが、生物多様性を守るためには、健全な地質環境や水循環を保全することにつながると考えております。当NPOが行っている「単元調査法」による地質汚染調査、浄化を今後も普及していきたいと考えております。
基本的には今行っていることを愚直に続けること以外にはないと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・活動区域内の雑木林や水路の環境を整備する。 ・希少種の増殖を試みる。 ・活動区域内の外来生物を駆除し新たな侵入を阻止する。 ・環境への負荷が高いプラスチック類や動力源としての石油の使用量をできるだけ削減する。 ・地域住民への啓発活動を行う。

Q11 みんなで「生物多様性」を守っていくことについてどう思いますか。

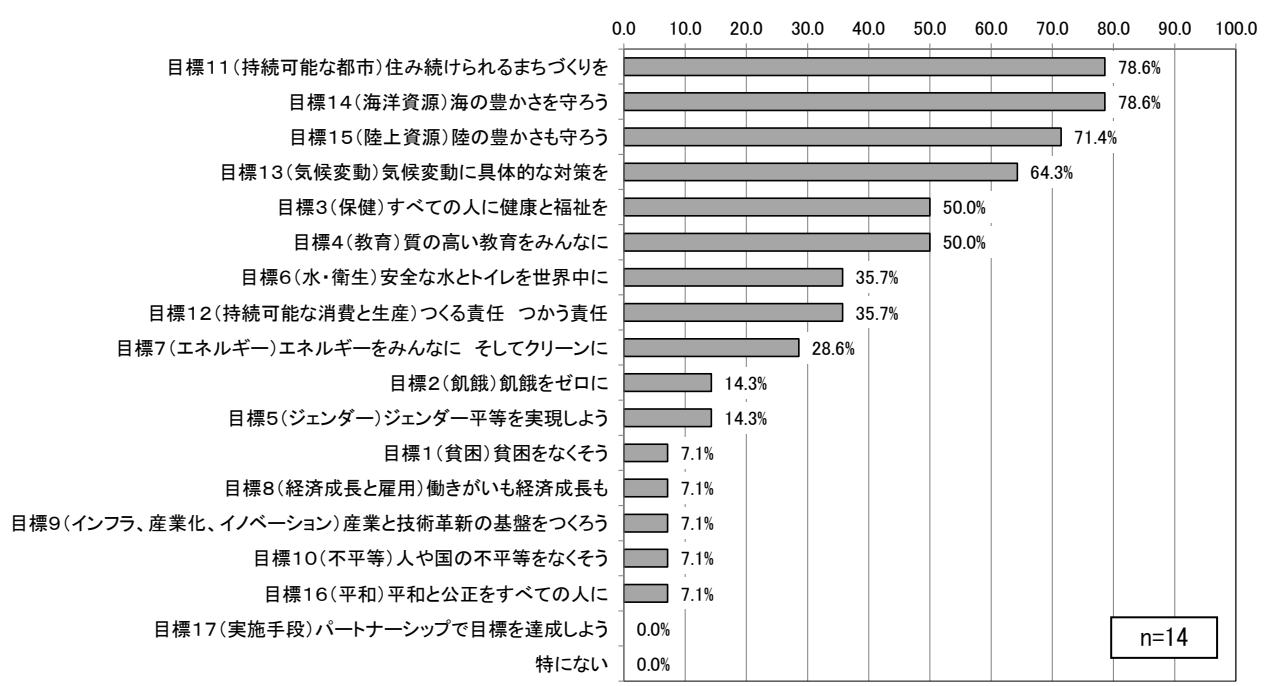
・「生物多様性」を守っていくことについては、「大切なことだと思う」が13団体(92.9%)、「わからない」が1団体(7.1%)でした。



選択肢	回答数
大切なことだと思う	13
特に大切なことだとは思わない	0
わからない	1
全体	14

Q12 「生物多様性」を守っていくための取組みは、SDGs（2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）を達成することにもつながりますが、SDGsの17の目標のうち、取り組んでいる、または取り組む予定の目標はありますか。いくつか選んでください。

・SDGsの目標は、「目標11（持続可能な都市）住み続けられるまちづくりを」及び「目標14（海洋資源）海の豊かさを守ろう」が11団体（78.6%）と最も多く、次いで「目標15（陸上資源）陸の豊かさを守ろう」が10団体（71.4%）、「目標3（気候変動）気候変動に具体的な対策を」が9団体（64.3%）でした。



選択肢	回答数
目標 1 1（持続可能な都市）住み続けられるまちづくりを	11
目標 1 4（海洋資源）海の豊かさを守ろう	11
目標 1 5（陸上資源）陸の豊かさも守ろう	10
目標 1 3（気候変動）気候変動に具体的な対策を	9
目標 3（保健）すべての人に健康と福祉を	7
目標 4（教育）質の高い教育をみんなに	7
目標 6（水・衛生）安全な水とトイレを世界中に	5
目標 1 2（持続可能な消費と生産）つくる責任 つかう責任	5
目標 7（エネルギー）エネルギーをみんなに そしてクリーンに	4
目標 2（飢餓）飢餓をゼロに	2
目標 5（ジェンダー）ジェンダー平等を実現しよう	2
目標 1（貧困）貧困をなくそう	1
目標 8（経済成長と雇用）働きがいも経済成長も	1
目標 9（インフラ、産業化、イノベーション）産業と技術革新の基盤をつくろう	1
目標 1 0（不平等）人や国の不平等をなくそう	1
目標 1 6（平和）平和と公正をすべての人に	1
目標 1 7（実施手段）パートナーシップで目標を達成しよう	0
特にない	0
全体	14

Q13 千葉市の水環境・水循環と生物多様性の保全・再生への取り組みや計画づくりについて、ご意見があれば教えてください。

- ・計画づくり、取り組みは策定するだけでなく、それらの取り組みはどのようなものだったのか、その結果はどうだったのか、結果から見出した解決策とその実行方法をどのように考えているのか、私たちに示していただきたい。
- ・水辺・緑地の保全や浸透の改善など個別に行われる活動・施策もとても大事ですが、水循環も生物多様性も広域的な事象ですので、広い視野に立った現状把握・分析をお願いします。特に海に近い側は市街地化が著しい上に治水利水でかなりいじっているの、古地図を参照するなどして原地形・原植生に立ち返りご意識いただけたら。民有地には直接介入できないと思いますが、大きな枠組みに位置付けることはできるかもしれません。オランダは民有地で重要な緑地は先に把握しておき状況によって買収する施策があるそうです。また、こうした計画の常として他部署との連携ができず限定的にしか働かないということがあります。景観計画、都市マス、農業計画と「連携します」とよく書かれますが、もっと踏み込んでそれらの部署とどう連携するのか具体策を盛り込んでいただけたら。あとは、職員の運用の理解が不足していると効力が半減します。岡山県奈義町では計画策定にあたり職員のワークショップを繰り返し行いました。ご検討ください。計画実現に向けどの部署の誰がどう動くかというところまでデザインできれば最高です。あとは成果を図る物差しと具体的な目標を明示願います。
- ・いつもありがとうございます。計画については、まずは少しでもハードルを下げないと絵に描いた餅にも成りかねないと思っていますし、関心はあっても、きっかけや時間がないというのが市民の実状。
- ・耕作放棄地については、市で音頭を取っていただき、シェア田んぼのような(シェア畑があるので)休日だけでも関われる仕組みを作っていただければ、ハードル下げて関心向上や生態系復活も目指せるかのではと、ずっと思っています。
- ・千葉市民の日常生活から離れた辺地・観光地を主対象とせず、日常生活環境での生物多様性の向上により多くの人々が豊かさを享受できる計画と施業。縦割り行政の弊害でした局からばらばらの里地、公園緑地、など点ごとのビオトープごっこでなく、環境の保全・再生を統括できる部署の設置と、地目(点)で特定しない、ゾーンとしての環境保全活動への支援制度の確立。
- ・水関係や生物多様性を目標にするのは素晴らしいですが、特に生物多様性の目的に作業するのはきりが無い、本当に生物に多様性を維持することはむつかしいので結局諦めるのでした。
- ・景観生態学者 Hartmut Leser によると、エコシステム(生態系)はバイオシステム(BIO)とジオシステム(GEO)が融合した概念と定義されています。しかしながら、生態系の保全や計画の取り組みにおいて、土地が存在することは前提であり、土地が形成されてきた経緯や失われる可能性への配慮は含まれません。さらに生物多様性の概念には、生態系の中のバイオシステムしか考慮されていません。これは、生態系という日本語にエコの概念が含まれていないためであり、かつ、海水準変動や地形の変化など、ジオシステムにおける時間の概念が希薄だからと考えられます。湧水に形成された生態系は、湧水が枯渇すれば失われます。新しい計画には、ジオシステムへの配慮が行われることが必要でしたと考えます。
- ・過去の計画(定性的、定量的目標)に対する現在の到達点をまず明らかにする必要がある。そのうえで目標と現状との乖離の原因を突き詰めて考えなければならない。この作業は行われているのかどうかも不明でした。夢から出発して目標を設定するのも悪くはないが、現在地を明らかにしないで、夢を語ってもしょせん夢は夢でした。現在地を明らかにし、それを共通の土台として議論を進

めるべきでした。そうでなければ、市民の意見を聞いたという行政当局のアリバイになるだけでした。

- ・計画策定にあたって「里山幻想」を捨てるべきでした。前回は今回も色濃くその影響を受けており、関連資料は結論をそちらに誘導しようとする意図が見える。里山を循環型経済のモデルと見る見方には多くの異論が指摘されている。市内に何か所かの「里山」を（膨大な石油エネルギーを使って）復元することが千葉市の生物多様性の豊かさの証にはならない。人間が利用しなくなった山林、耕作放棄地などは自然の遷移に委ね、市民の生活空間の生物多様性を豊かにする方策を考え実現するために知恵を絞るべきでした。
- ・日本の人口がピークアウトしてから久しい。千葉市は人口流入があるものの、そろそろピークアウトの時期かと思います。政府は70歳まで働けという政策を掲げています。里山（人手をかけた自然環境）の維持は人手が必要であり、大変厳しい未来となっています。非営利組織（ボランティア団体）はいろいろな分野で必要不可欠な存在になっています。社会はボランティアの生産性の高さを活用すべきであり、行政は青少年のボランティア実践教育に力を入れ、市民のボランティア活動への意識を高めるべきではないでしょうか。
- ・行政は河川を雨水本管としか考えておられないように思います。大雨のたびに河川に大量の雨水が一時に流れ込み、水辺の生き物への影響や海域への養分の減少は計り知れないものがあると思います。これ以上、市街地開発などによる雨水排水を増やすことなく、涵養林の機能を回復させて水循環の健康回復を行うことが必要ではないでしょうか。
- ・市民のマナーも褒められたものではありません。毎日、河川にゴミを捨てる人があとを絶ちません。「よりよくします！千葉市の環境」の「子どもたちからの提言」を、千葉市が積極的に応援されることを期待します。
- ・時間をかけて策定するのでしたから、ぜひ全市的に共有し、生物多様性保全の考え方が市政策の上位に位置づけられるようにしていただきたい。
- ・水源涵養地を守る（ごみの不法投棄、廃棄物集積場や雨水浸透が妨げられるような人為的改変や開発を規制する）条例の設置などに
- ・排水路と化した河川をより自然度の高い河川に近づけ、海から上流部まで川をつなげ、生きものの遡上を可能にする。
- ・地下水涵養など保全すべき地域のゾーニングを明確にする。
- ・有害鳥獣対策については、農政・環境で一元化し、市・市民の駆除の取り組みの効果が十分発揮されるよう全市的な取り組みとすること。さらに、千葉市独自に捕獲外来動物の受け入れ機関を設けるなど、意欲的な取り組みに結びつけていただきたい。

Q14 これまでの質問以外に、個別のヒアリングをご希望される場合は、その内容について、記載してください。

- ・活動する公園内に調整池を抱え、オオブタクサ・アレチウリ・キシノウブなどの外来植物やアメリカザリガニなど外来種の問題があります。森林内、草地は一定の成果を出しつつありますが、水辺は発展途上です。そのあたりの課題について申し上げられたらと思います。
- ・縦割り行政の弊害で、里地、公園・緑地など、市の既存1部門の管理範囲内限定の活動だけが協業・支援対象の制度しかなく、流域全体の環境再生・改善・保全を目指す当会活動範囲をカバーする協業・支援制度がない
- ・ジオシステムへの配慮の一環として健全な水循環の確保が不可欠であり、地下水の健全性の確保が必要かつ重要でしたことなど。
- ・当会の活動地域周辺の土地を所有する不動産業者が動き出す気配を見せている。2022年1月挨拶に伺ったところ、物流団地の建設を考えているとのこと、いずれ環境アセスを実施したいとのことでした。活動エリアは、「千葉県谷津田の自然の保全施策指針」に基づいて保全活動を行っており、さらに環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に指定されている地域でした。市の指針には、谷津田の自然を保全する意義として以下の5点を挙げている。①多様な生物相の保全 ②原風景を守り育て、農村文化を伝える ③自然とふれあい学ぶ ④都市環境の保全 ⑤循環型社会の形成。生物多様性に富み市の重要な地域における開発について、保全と開発にどう折り合いをつけてこの地の自然環境を守っていくか協議したいと考えている。具体的にはQ13に述べた事柄などでした。